

金光学園

# やっなみ

2022.3



261号



# 卒業式



## 高2 芸術選択者発表会（音楽）



## 高2 芸術選択者発表会（美術）



こころばいも……

北村 和章

先日、学園を訪れる機会があり、紅葉したメタセコイア並木を眺めていました。うちの息子はなんて素敵で環境で学んでいたのだろう。羨ましくもあり、もう終わりだと思わずと少し寂しく感じました。

学園生活の6年間は長いようで、短かったですね。

六年前の4月。今までの友達が誰もいない中での登校。緊張して、疲れて切つて帰ってきたことを今でも思い出します。

卒業生の皆さま、そして、保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

高校2年生、3年生の2年間はコロナ禍によりあらゆる学校行事がなくなり、非常に残念で悔しい思いをしたことでしょう。しかし、この期間は、将来あなたたちにとって必ず有意義だった2年間になります。いや、有意義だったと思える2年間にしていかなければならないですね。

これから学園を卒業し、親元を離れる人がほとんどでしょう。親元を離れ、これからは自分でサイコロを振る人生ゲームが始まります。

リアル版人生ゲームの始まりです。その時々自分が判断していく。結果も全て自分の責任。自分の選択の積み重ねが今となり、その今の積み重ねが未来になります。そうやって、これからの自分の人生を作っていきます。学園での生活と違い、あなたたちを守ってくれる環境もなくなりません。良いことも悪いことも全て自分の責任。

しかし、私たち保護者はどんなことがあると、いつまでもあなたの味方です。最後に戻る場所を作っておきます。あなたは私たちの宝物ですから。

心置き無く人生ゲームを楽しんでください。では行つてらっしゃい。

（金光学園やつなみ保護者会副会長）

## 目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 巻頭言                  | 1  |
| 第74回高校卒業式            | 2  |
| 会報                   | 27 |
| 道(31)                | 28 |
| メタセコイア               | 30 |
| 活躍おめでとう              | 31 |
| やつなみ保護者会のページ         | 33 |
| 活躍する卒業生              | 36 |
| アジア高校生架け橋プロジェクト留学生紹介 | 39 |
| 土曜チャレンジ講座            | 40 |
| 学園随想(79)             | 42 |
| 生徒会活動                | 45 |
| 学園だより                | 48 |
| 教室の窓から               | 50 |
| 編集後記                 | 50 |

# 第74回高校卒業式

## 式辞

校長 金光 道晴



立春を過ぎてからも相次いで寒波が到来し、各地に大雪の被害をもたらすなど、2月は例年にならない厳しい寒さが続いておりましたが、数日前からは、寒さも少し緩み、今日はこれから雨が降るとの予報ですが、このように早春のお日和の中で、麗しく第74回高等学校の卒業式を迎えさ

せて頂きました。

今日の卒業式は新型コロナウイルスの影響で、昨年・一昨年に続いて来賓の方々をお招きせず、在校生の出席もない卒業式となりました。卒業生の皆さん自身も、高1でも高2でも在校生としては出席できず、今日の卒業式は自分が送られる立場になつて初めての卒業式ということになるのであります。

私たち教職員は、今日出席できない高1・高2の在校生や、同窓会・保護者会・卒業生の恩師の先生方などの来賓の方々の思いも合わせ、その皆さんを代表して心を込めて送りたいと思っております。

はじめに保護者の皆様にお祝いとお礼を申し上げます。本日は誠にありがとうございます。18年前に、ご両親の大きな感動の中で、産声をあげたお子様はどのように立派に成長されました。あどけない新入生として入学した6年前も、初々

## 卒業式の概要

今年度の卒業式は新型コロナウイルス感染症の影響により、在校生や来賓の参加を取り止めるとともに、規模を縮小して実施した。

3月1日朝8時5分、卒業生199名を代表して、各クラス2名が金光教本部広前に参拝し、虫明紗桜理さんが卒業のお礼と新しい生活へ向けての決意をお届けした。

第1部の式典は、ほつま体育館にて10時に開式。国歌静聴の後、金光道晴校長より総代の荒川歩夢さんに卒業証書が授与された。続いて、校長式辞の後、田淵美賀雄常務理事より記念品として金光教教典抄「天地は語る」と四

しい新入生として入学してこられた3年前も、過ぎ去ってみればついこの前のような気がいたします。保護者の皆様には、こうしてお子様が無事学園生活を終えて、今日の良き日を迎えられたことを感無量の思いで、出席しておられることと存じます。改めまして入学以来、学園教育の全てにわたりまして、今日までいただいてまいりました。温かいご理解と格別のご協力に御礼を申し上げますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、199名の卒業生の皆さん、本日は卒業おめでとうございます。今朝は本来なら、学園生として全員での最後の金光教本部広前への参拝の後に、この卒業式に臨むところでしたが、各クラス2名の代表の生徒だけの参拝となりました。虫明紗桜理さんが代表して、ここまで成長させていただいたことの御礼と、ここからお願いの届けをされ、教主金光様から「本日はおめでとうございます。これからも学園生活で培われたものを大切に、皆さんそれぞれの進路に向かって、世話になる全てに礼をいう心をもって進んでいかれますようお祈り申し上げます」とのお言葉をいただきました。そして先

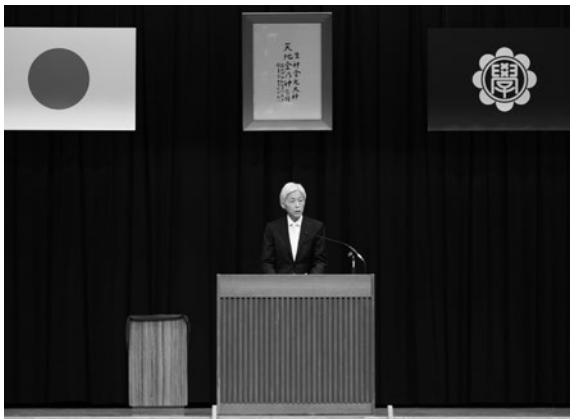
程は卒業証書をただかれ、めでたく高等学校第74回卒業生になりましたのであります。誠にありがとうございます。

さて、皆さんにとっての3年ないし6年間の学園生活はどうだったでしょうか。高校でのこの2年間はコロナに翻弄され続けた学園生活だったと思います。高1の終わりの休校から始まり、高2での休校期間は、生徒も私たち教員も慣れない中でのオンライン授業に一生懸命取り組みました。部活動の制限や大会や発表会の中止、生徒会行事の中止や制限、修学旅行の中止などで、楽しみにしていた事に取り組むことが出来なかつたり、それを制限されたりすることが続きました。大学入試においても、コロナ感染拡大の中で、出願から受験に至るまで、心配や不安の連続だったと思います。しかし、そんな中で、皆さんは弱音を吐かず、泣き言を言わず、しっかりと現状を受け止め、本当に良く頑張ったと思います。

私はそんな皆さんに週に1時間ではありましたが、宗教の時間で色々な話をさせてもらい、皆さんのスピーチも聞かせてもらい、元気をもらったようなことであります。皆さんと顔を合わせるの

代金光様のお筆になる「学園の合言葉」の色紙が総代の原田珠希さんに贈られた。さらに、金光教教務総長 岩崎道興氏の挨拶、送辞（古村彩佳さん）、答辞（安福柊汰さん）と続き、最後に「金光学園歌」静聴で第1部は閉会した。

第2部の祝宴は、引き続きほつま体育館で行われた。最初に学園生活の3年間を振り返る「あしあと」が東山映子先生、土谷香奈子先生、小松原悠希先生の司会のもと、高3学年団を中心に上演された。写真とナレーションで入学式、ほつま祭、体育会などの楽しかった日々を思いを馳せた。続いて卒業生保護者代表 北村和章氏より謝辞が述べられ、岡本理奈氏より記念品目録（中学・高校特別教室18教室プロジェクトター整備）の贈呈が行われた。終わりに卒業生代表の田中宏樹さん、学校代表の横山俊則高校教頭よりそれぞれ謝辞が述べられ、拍手に送られて卒業生は学園を巣立った。



大変楽しみな時間でありました。

今日の式辞は最後の宗教の時間のつもりで、また学園教育最後の場として、お話をさせていただきます。今日このあと、皆さんは卒業の記念品として金光教の教祖様の教えが書かれている「天地は語る」と学園の「合言葉」の色紙を頂かれますが、「天地は語る」の中にある多くのみ教えの

中、3つのみ教えを紹介し、皆さんに送りたいと思います。

1つ目は「わが心でわが身を生かすこともあり殺すこともある。おかげを受けられるか受けられないかは、わが心にある。わが心さえ改めればいくらでもおかげが受けられる」というものです。

2つ目は「明日塩辛を食べるからといって、今日から水を飲んで待つわけにはいかまい。取り越し苦労をするな」

3つ目は、この壇上にも奉斎されている天地書付にもありますが、「おかげは和賀心（和らぎ喜ぶわが心）にあり」というみ教えであります。

長く続いているこのコロナ禍の中で、私自身も校長として、また一人の人間として、新たに起こってくる様々な問題をどう受け止め、克服していくかは大きな課題でありましたので、特にこのみ教えを大切にさせて頂きました。今紹介した3つのみ教えには共通点があります。気付いた人はいるでしょうか。実は全て人間の心の在り方、受け止め方を教えられているのであります。

皆さんは、4月からは18歳成人となります。成人としての正しい判断や責任が

……少しでも誰かのために役に立ちたい」  
このようなメールでした。

もちろん今ウクライナは、募金をして支援するという状況は、遥かに超えた大変な状況です。国連や日本も含めG7と呼ばれる国々をはじめ、世界の多くの国や人々が何とかこの侵攻を止められないかと考えていますが、その声は届かず、昨日は両国間で停戦交渉が行われたと伝えられました。停戦の見通しは全く立っていない状況です。

皆さんもこの報道を聞き、いたたまれない気持ちで、何とか出来ないか、何かできることはないかとの思いであると思いますが、このこと1つをとってもすぐに解決できない問題はかりであります。

皆さんの卒業後の生活も、これまでのようにいつも温かい支援や援助のあるものとは限りません。大きな試練や厚い壁、そしてどうすることも出来ない困難にぶつかるともあると思います。しかし、この21世紀を生きていく皆さんには、社会を、日本を、そして世界を、地球を良くして行こうという思いや願いを持ち続け、頂きたいと切に思うのであります。

皆さんはここまでの学園生活で、勉学

求められるようになります。そして大学生として、またその後は社会人として新しいステージに立つわけであります。しかし、これからの人生の中で、様々な試練や困難に遭遇した時、そのことをどう受け止め、どう解決していくかはとても大切なことだと思えます。怒り、憎しみ、悲しみ、心配などの心は自然に湧き起る人間の感情であります。金光教の教祖様は、「わが心でわが身を生かし、いらぬ心配はせず、和らぎ喜ぶ心（和賀心）を持つこと」の大切さを教えられています。

皆さんはこれから様々なことに出会うと思いますが、どうぞ自分の心の受け止め方や心の持ち方を大切にしてください。おかげは和賀心（和らぎ喜ぶわが心）にあり」であります。

もう一つの記念品は「合言葉」の色紙であります。皆さんは入学してから今までこの合言葉を何度も聞いたり、見たりしてきたと思います。どうぞ卒業してからも、一生の宝物として大切にしてください。欲しいと願っています。

私の学園時代の親友で卒業して何十年も経つのに、今なおこの色紙を毎日見て大切にしている友人がいます。私の先輩

はもとより、健康な体、大切な友、そして何より、人として大切な心を身につけることができたと思っております。皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈りし、終りにもう一度「人たいせつに」自分をたいていせつに、物をたいせつに」の合言葉を申し上げて、式辞と致します。

## 送 辞

在校生代表 古村 彩佳



やわらかな日差しの中に、ほのかな春の香りが漂う季節となりました。このような良き日に門出を迎えられた卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

今、この場に立ち、振り返ってみますと、先輩方と過ごした数々の思い出が目の前に浮かんできます。

社会がコロナ禍で落ち込む中、先輩方は最高学年として、私たちが在校生を導いてくれました。教育環境の整っていない



ミヤンマーのシャン州ンゴラ村に建設された幼稚園の子ども達に、文房具などの物資の支援を目的として昨年度立ち上げられた「ジャストスマイル学校プロジェクト」では、先輩方が直接現地の方とオンラインでお話をされ、本場に必要とされている物資を用意されました。しかし、ミヤンマーでは軍事クーデターが起こっており、残念ながら未だに物資を輸送できていない状況が続いています。今年度からは私たち高校2年生が先輩方の意思を引き継ぎ、現在、シャン州ワータオー村に2つめの幼稚園を建設する準備が始まっています。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度のほつま祭は金光学園の長い歴史の中で初めて中止となり、体育会は午前中のみの開催となりました。楽しみがなくなっていたはずのほつま祭での模擬店が出来なかつた分、体育会では、一つ一つの競技に全力で取り組まれ、どの学年よりも華やいていました。その中でも長縄跳びでのブロックを超えた応援によって体育会が大いに盛り上がり、先輩方の団結力や情熱を見せつけられました。

毎日のようにニュースに取り上げられたのが、大リーグエンゼルスの大谷翔平選手とプロ棋士の藤井聡太竜王の活躍ではないでしょうか。二刀流とよばれるように、ピッチャーとして活躍しながら、バッターとしてもホームラン王を争う大谷選手

の姿に多くの人が魅了されました。藤井竜王は、4連勝で竜王のタイトルを獲得したため、11月に倉敷市玉島で予定されていた竜王戦第5局は幻に終わってしまいました。王将位を奪取し、最年少で5冠を達成しました。2人とも強い信念を持つことで大舞台においても実力を発揮できているのだと思います。

現在、JAXAこと宇宙航空研究開発機構では、宇宙飛行士を募集しています。なんと前回の募集から13年ぶりだそうです。今回はより多くの人材に応募してもらうために学歴や文系・理系が問われることなく、高校卒で応募可能となったことで話題になりました。前回の選抜試験でファイナリストとなった産婦人科医の江澤佐知子さんは、1年間に及んだ選抜試験を経て、「競争よりも協調がいかに大切かということ」を学んだ。自分さえ良

ければいいのではなく、自分の役割を踏まえて周りの人と協調することで、より良い結果が生まれる。それは医師としても、一個人としても、大切な経験となつたとおっしゃっています。

皆様は、今日を境に新しい世界に向かって大きな一歩を踏み出されます。困難にぶつかることもあるでしょう。そのような時は、金光学園の「人をたいせつに」自分をたいせつに、物をたいせつに」という合言葉のとおり、強い信念を持つて周りの方々と協調しながら、夢に向かって挑戦し続けてください。3学期始業式の決意表明での「さあ、受験生！自分のストーリーを最高傑作にしようじゃないか」という仲間へ向けた力強いメッセージは、私たちが在校生の心までも熱くさせました。先輩方に教えていただいたことを胸に、金光学園をより一層素晴らしい学校にしていきたいと思えます。

最後になりましたが、先輩方のご健康とますますのご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

また、部活動の大会やコンクールの中止が決まった後の姿を鮮明に覚えていません。誰よりも悲しいはずなのに、自分たちができる最大限の力を常に発揮しておられた先輩方は、制限の多かった高校生活に差す光のようで、私たちが在校生に大きな勇気を与えてくださる存在でした。そして、多くの輝かしい結果を残されました。運動部では、少林拳法部と陸上競技部が全国大会への出場を果たしました。バスケットボールの岡山県代表選手に選出された先輩や、ラグビーの少人数校岡山県選抜選手に選出された先輩もいらっしゃいました。文化部では、音楽部コーラスと電気科学部が全国大会への出場を果たし、文芸部の先輩の作品が中国大会で優秀賞に選ばれました。

社会全体のさまざまな活動が停滞した中、今年度は夏季と冬季の2つのオリンピック・パラリンピックが、東京と北京で開催される年でもありました。特に、つい先日閉幕した冬季オリンピックでの日本選手の頑張りがドラマに大きな感動を受け、その余韻がまだ残っていますが、いずれの大会でも若い選手の躍動が私たちに勇気づけてくれました。この他にも

## 答 辞

卒業生代表 安福 柊汰



冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じるこの良き日、私たち3年生は無事、卒業式を迎えることができました。本日は私たちのために、このような厳粛な式を挙行していただき誠にありがとうございます。卒業生一同、心より御礼申し上げます。3年ないし6年前に、これから始まる生活に胸を躍らせ、金光学園の門をくぐったことが、つい昨日のこのように感じられます。

思い起こせば、私たちの高校生活は新型コロナウイルスの感染拡大により、想像していたものとは大きく違ってしま

ました。

学校行事の中止や縮小、部活動の制限で、楽しみにしていた修学旅行も行くことができず、目標としていた部活動の試合や発表の機会も少なくなっていました。初めての休校やオンライン授業に不安や戸惑いを感じた人も多かったでしょう。しかし、そのような生活の中だからこそ、強く印象に残ったことがありました。切磋琢磨しながら、勉強や部活動、学校行事に取り組み、絆を深めてきた仲間との存在。良き仲間として、良きライバルとして、互いに支え合い、高め合ってきた。高校2年のほつま祭は来校者が制限され、規模を縮小しての開催となりました。様々な制約や不自由がある中でも、来てくださる方に笑顔になってもらえよう、一人ひとりが工夫を凝らし、こだわりをもって展示や演技に取り組みました。そして、当日は例年以上の盛り上がりを見せました。さまざまな困難の中でも、個性溢れる仲間と共に、充実した時間を過ごすことができた学園生活はかけがえないものとなりました。

私たちの高校生活を精一杯支えてくれた家族の存在。今日までの18年間、素晴

中でも、延期されていた東京オリンピックが開催され、様々な困難の中、素晴らしい試合や演技を見せてくれた選手たちに多くの感動を与えられました。私たちの先輩の、井上全悠選手もパラリンピックの卓球競技に出場し、挑戦することの大切さを教えていただきました。私たちには技術を磨き、知恵を出し合い、問題を解決する力があります。そして、私たちは一人ではなく仲間や周囲の人たちと助け合い、協力することで未来を切り開く力があります。金光学園で学び、身につけたその力と、金光学園で培った仲間との絆を糧に、これからどんな困難も乗り越えていくことができるはずです。そして、その時、いつも応援し愛情を注いでくれる家族が力になってくれるはず

です。今日の式には在校生は代表生徒しか参加することはできませんでしたが、先輩としてみなさんにも大切にしてほしいことがあります。それは常に向上心を持ち続けることです。私は、中高6年間の陸上競技生活を通して、どれだけ良い結果が出て、まだ記録が伸びるという心持ちで大会に臨んでいました。そのお陰で、

らしい環境の中で成長することができたのは、家族の支えがあってこそです。毎日のお弁当作りや、朝晩の送り迎え、いつもは言葉にできないけれど感謝の思いでいっぱいです。部活動での活躍や、入試や検定の結果などを一番に伝えたいと思うのは、いつも家族でした。私には支えてくれる家族がいる、そう思うだけで怖いものはありません。それほど私たちにとって家族の存在は大きなものでした。学園生活の中で私たちの心強い味方であってくださった先生方。日々の授業はもろろんのこと、先生方は一人の大人として私たちが目指すべき目標に近づけるよう力になってくださいました。

このように、私たちはたくさんの方の大きな支えがあって、生きています。それを当たり前のこととして、無関心で過ごしてきた私たちにとって、新型コロナウイルスの感染拡大は、大きな転機となりました。当たり前だったことは当たり前ではなくなり、「日常」は「新しい日常」になりました。新たな変異ウイルスの急拡大の脅威と、いまだ収束を見せない現在の状況の中、「今」という一瞬一瞬がいかにかけがえなく、ありがたいものであ

大きな大会に出て負けた時でも、挫けずにさらに上の記録を目指して陸上に励むことができました。このように、志を高く持ち続け、周りに左右されず、自分の成長を目指して練習することが、さらなる記録の向上に繋がったのではないかと思います。これは勉強に関しても比較することで、周りの人と自分の成績を力して、どれくらい目標に近づけたのかということが大事だと思います。努力しているかどうかは他人が決めることではありません。自分のペースで自分の力を信じて、さまざまなことに挑んでください。そして、応援、協力してくださる周りの先生方、家族、友達にも感謝の気持ちを常に持ち続けてください。

本日をもちまして私たちは金光学園を卒業します。合言葉である「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」を忘れずに、新たなことや困難なことにも果敢に挑戦していくことを誓います。最後になりましたが、これまでお世話になったすべての皆様に深く感謝の意を表すとともに、伝統ある金光学園の更なる発展を願い、答辞とさせていただきます。



るかを痛感させられました。そして、明日を見通すことが難しい「今」だからこそ、後悔のないように精一杯「今」この時を生きていかなければならないと強く思うようになりました。

感染症の流行は、医療だけでなく社会活動や経済にも大きな影響を与えました。また、感染症以外にも地球温暖化、各地での紛争など、世界では問題が山積しています。しかし、そんな先行きが不安な

答辞 送辞はそれぞれの起草委員会で作られたものである。

◇答辞起草委員◇

- 高3 岡本 拓磨 坂口 玲
- 田村 美稀 安福 柊汰
- 西森 翔真 景山 啓介
- 藤井 陵志 栗原万由子
- 江口 聖人 柴田 瑠菜

◇送辞起草委員◇

- 高2 赤澤 勇陽 重藤 拓夢
- 井上 直己 石井秀吏人
- 新田 晃岐 平田 晴之
- 渡邊 和紀 小出 佳奈
- 妹尾 美海 古村 彩佳
- 藤原 京香 江尻 圭吾
- 高1 鳥越 聖 岡崎 葵
- 竹本 宇宙 平山 史織
- 佐藤 克磨

# 贈る言葉

## 自分を信じて、強い信念を持つ

石田 崇彦

ご卒業おめでとうございます。ついこの日が来てしまいました。とても寂しい気持ちもありますが、これからのみなさんの明るい将来を祈念し、贈る言葉を書きたいと思います。やはり通信タイトルにしてきた「志」の原点である吉田松陰先生（以下「先生」）について思いを語ります。

幕末動乱期に、後に明治維新の立役者となる、多数の優秀な門下生を輩出した「松下村塾」。その「松下村塾」を立ち上げた先生から、自信や信念を持つこと、そしてそれを伝えることの重要性を学んでほしいと思います。

先生は、勉学に励むうちに、諸外国の事情を知るようになります。世界の実情を学んだ先生は、祖国である日本が、外国に劣らないようにするには、全国の人に日本という国が、いかに尊い国であるかを教えなくてはならないと決心し、27

歳の時、郷里の松本村に「松下村塾」を開きました。

そして、弟子たちに、日本や世界の事情を教えて、日本人のあるべき姿や、いかに忠義を尽くすか、愛国の精神など、彼の信念を一所懸命に説きました。

先生は、至誠（まごころ）を尽くして一所懸命に教えれば、どんな人でも動かされない者はいないと深く信じていました。

「松本村は片田舎ではあるが、此の塾からきつと御国の柱となるような人が出る」と言いつて弟子たちを励ましたと言います。

至誠を尽くした先生の、自分を信じた徳高き言葉は、弟子たちの胸にも、熱い勇氣と自信を育みました。先生が松下村塾を開いていたのは、わずか2年半という短い期間でした。にもかかわらず、松下村塾に学んだ弟子たちは、一所懸命に勉学に励み、世を動かす立派な人物が次々と輩出されています。

身はたとひ武蔵の野邊に朽ちぬとも留め置かまし 大和魂

励ます言葉をかけ、共に育つ気持ちで毎日を通「そう」と考えました。その結果、みなさんに少しは勇氣と自信を育むことができたのかと思っています。これからの人生では思い通りにいかないことばかりです。それでも、自分を信じ、強い信念を持つてください。そうすれば、道は開けていくはずですよ。

さらに成長して学園に帰ってきてくれることを楽しみにしています。3年ないし6年間、共に成長してくれてありがとうございます。ありがとうございました。

## たった一度の人生 自分で切り開け

石井 秀典

卒業おめでとう。  
貴方の大切な人生の一瞬を共に過ごせた事を嬉しく思います。  
同時に全ての事に「感謝」し、たいせつな思い出とします。  
たった一度の人生です。  
自分の好きなように生きるのめたいです。

家族を大切に 友を大切に そして、自分を大切に

～ 夢 With You ～

共にお互いの夢に向かって前進しよう。前進して疲れたり、躓いたりしても大丈夫。

熱い瞬間を共に過ごした「友」がいるじゃないか。

勿論、「私たち」も居ます。

いつも いつもまでも 共に「前進＊善進」しよう。  
本当にありがとう。

## 巣立っていく皆さんに輝かしい未来を

塚原 敏政

皆さん、卒業おめでとうございます。まずは全員揃って無事に今日の日を迎えることができたことを率直に嬉しく思っています。振り返ってみれば数々の思い出が走馬灯のように流れていくと思えます。特に高校3年は「あっ！」という間でしたよね。本当にお疲れ様でした。そしてありがとう。皆さんはこの学校を巣立っていくわけですが、同じクラスで学んだクラスメイトをはじめ、今年一緒に卒業する同期生は将来にわたって付き合



卒業生保護者お礼の言葉  
北村和章

（私の身が武蔵の地で朽ちてしまおうとも、大和魂だけは留めておきたいものだ）これは先生の辞世の句です。いかに先生が強い信念を持ち、その熱意が若者たちを突き動かしたかが感じられます。自分を信じて疑わなかった、先生の強い信念が、若者たちにも熱い勇氣と自信を与え、人を動かしたのです。

私自身もこの学年がスタートするにあたって、学年主任として、みなさんをどう育てていくかと考えました。そこで、私自身がまずは信念を持ち、みなさんを

えるかけがえのない仲間です。これから先、進学・就職・結婚・子育て・趣味・ボランティア・地域活動などの様々なシーンで、楽しい時も厳しい時もきつと大切な絆となつて、皆さんに力をくれるはずですよ。何かあったときにぜひこの絆を思い出して大切に紡いでいって欲しいと願っています。3月1日……節目の日です。ある人が言っていました。「夢を見るから、人生は輝き、人生は楽しい」これからのさらなる飛躍を期待しております。お体に気をつけて頑張ってください。最後に合い言葉「親を大切に！」「人を大切に！」「自分を大切に！」……ん！ 何か違うって？

## なりたい自分へ！

小松原 悠希

ご卒業おめでとうございます。みなさんの晴れやかな門出にどんな言葉を贈ろうかと考えながら、今日までの3年間を思い返しました。笑ったり泣いたり、人との折り合いのつけ方や自分との向き合い方に悩みながらも前に進んできましたね。そうした毎日にかかわらずいたただける教員という仕事は、役得だなあとこっ



そりかみしめたりもしました。そしてみなさんはこれから先も、さらに多くの経験を今よりもっともっと大きく成長していくでしょう。

「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければそれは成功になる」。パナソニックの創業者で、「経営の神様」と呼ばれる松下幸之助さんの言葉です。継続することの大切さを説いた言葉ととらえることもできるのですが、私は「成功するまで」という部分にこそ、この言葉の良さが詰まっていると思うのです。ただ何となく繰り返すのではなく、経験から何をj得てどう行動するか。どんな自分でありたいか。前向きな気持ちで向上心を持つこと。それだけで次の一歩は大きく変わるはずなんです。

新しい世界へ踏み出すみなさんが、これから先、何かに悩んだ時にはぜひ自分にならずにみて下さい。「なりたい自分になるために今何が必要か」と。納得するまで何度も自分や周りと同じ向き合ってきたあなたです。どうせやるなら妥協せず！担任として初めて卒業生を送る春。みなさんが思い描いて進む未来が素敵で日々であることを願っています。

得られたものです。

この世に意味のない出会いはないと最近よく思います。私よりもずっと年下のみなさんですが、ひたむきに努力をする姿、友人を心から心配する姿、壁にぶち当たっても諦めずに前に進む姿、本当に尊敬できる点がたくさんありました。そしてその姿を見て、私も頑張らないといけないなとも思っていました。人と関わっていく限り、きっと何らかの影響を与え合うはずなんです。その時少しでも良い影響を与える人になってほしいと思います。今までのみなさんがそうであったように、これからも周囲に良い刺激を与える人、そして周りの人からの良い刺激を素直に吸収できる人になって、もっともっと成長してくれることを心から願っています。

## 出会いを大切に

東山 映子

みなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんと出会い、一緒に授業や行事に取り組めたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私が金光学園を卒業し、新しい生活をスタートしたとき、不安もたくさんあり

## 自分を信じる力

中島 寛

卒業おめでとうございます。皆さんの人生の中で高校生活という貴重な3年間を一緒に過ごすことができて、私にとってもかけがえのない3年間になりました。本当にありがとう。さて、皆さんは自分に「自信」がありますか。「自信」とは、「自分を信じる力」と言われます。これから皆さんは社会に出て、いろいろなことにチャレンジしていくチャンスを得ることでしょうし、逆に多くの乗り越えるべき困難なことにも出会うでしょう。

私は子供のころからラグビーが大好きでした。その当時よく耳にしたのが、明治大学ラグビー部の礎を築いた北島監督の言葉「前へ」です。北島先生は、「長い人生だから数多くの障害物にぶつかると。かわすことで乗り越えられる障害物ならばいい。しかし、大きな困難にぶつかったときは、体当たりで乗り越えていくしかない。いつものクセでかわそうとしたら、きっと痛い目に合うだろう。とにかく「前へ」。ためらわずに「前へ」と言われていて、常に「前へ」進むことが重要と言われていました。年を重ねる

ました。でも、学園生活を一緒に過ごした仲間の支えや、新しく出会った人たちとの交流の中で多くのことを学ぶことができました。

中でも印象的だったのはラオスの人々との出会いでした。みんなも、文房具を集めたり、募金活動をしたりとラオスの子供たちのために取り組んでくれましたね。私は大学生の時、授業の中でラオスのことを知り、子ども達のために何かしたいとボランティア活動に参加しました。ラオスを訪問し、教育環境が整っているとは言えない中で、それぞれが夢を持ち、熱心に先生の話を傾けている子ども達に出会いました。与えられた環境の中でお互い助け合い、楽しみながら明るく一生懸命生活しているラオスの人々から、お金があることや環境が整っていることだけが幸せでないことを改めて教えてもらいました。そして私が自分の価値観だけでラオスの子ども達をかわいそうと考えていたことを恥ずかしく思うと同時に、何が幸せかは人が決めることではないということを実感しました。

出会いは人生を豊かにしてくれます。皆さんもこれから始まる新しい生活の中

とともに、北島先生の言葉が人生にとつてとても大切な言葉だと実感するようになりました。

皆さんはこれから、個々の目標に向かって一歩一歩進んでいくことでしょ。大きな困難に出会うかもしれない。その時は逃げることなく正面からぶつかり、一歩でも「前へ」進むことを心掛けてください。その際支えになるのは、「自分を信じる力」となるでしょう。自分を信じて、これからの人生を大いに楽しんでください。

## 高め合える人に

土谷 香奈子

卒業おめでとう。みなさんと出会ってから、あつという間に3年が経ちました。名前も顔も全然わからないみんなの前にドキドキしながら初めて立った日のことを懐かしく思い出します。ほつま祭で神戸に調べ学習に行つてトリックアートを作ったこと。何度も古文の再テストをしたこと。球技大会で盛り上がったこと。一緒に英単語テストにチャレンジしたこと。とにかく毎日忙しかったですが、とても楽しかったです。このかけがえのない思い出はみなさんに出会えたからこそ

で出会いを大切に、自分らしく様々なことに挑戦し、自分の世界を広げていってください。そしてたまには学校に来てみなさんのいろいろな体験談を聞かせてくださいね。楽しみにしています。



『10代しておきたい17のこと』という本の中に「10代のうちに、いい本や映画になるべくたくさん出合って、そのときの感動を心にストックしておけば、そのときの体験がいつか助けとなってくれます」という一節があります。また、その本の中では「ベイ・フォワード——可能の王国」という映画が紹介されています。主人公の中学1年の少年が、初めての社会科の時間に、「もし自分の手で世界を変えたいと思ったら、何をするか?」という課題を与えられ、そこで彼は Pay it forward を思いめぐらします。Pay it back (してもらったらお返しをする) のではなく、誰かにしてもらった親切なお返しを誰かほかの人に渡すというアイデアです。その人が幸せになれるようなことを別の3人にしてあげる。その3人はまた別の3人に……。しかしそう簡単にはうまくいきません。映画の中では数々の困難も表現されていて、結末は衝撃的でしたが、登場人物のあきらめない姿勢に感銘を受け、幸せとは何かについて考えさせられました。

今後感動を忘れず、あきらめずに、学び続ける人生を送ってほしい。現在は「40代にしておきたい17のこと」を読んでいます。不思議なことに「10代」バージョンを読んだときの感覚とそれほど変わりません。時代や場所に関係なく大切なことがあるのだなと実感しています。率直な感想は「年齢は関係ない、気持ちは stay young (でいこう)」ということ。以前授業で Anyone who stops learning is old, whether at twenty or eighty. Anyone who keeps learning stays young. The greatest thing in life is to keep your mind young. という名言を紹介しました。まずは3人の人が思い出してくれたらいい……。卒業後も Stay young!

### かけがえない人生を

天野 浩美

昨年度に引き続き、高校3年生の担当をさせていただき、受験生の皆さんの真摯な姿勢に、私自身も励まされ、日々過ごしてきました。受験対応の演習授業ばかりで、生徒の皆さんには味気ない時間だったと思います。もっと皆さんとゆっ



くりと何気ないお話をしたり、将来のことを語ったりする時間も欲しかったなと思います。そんな中でも、出逢った文章の中に少しでも皆さんの気付きになったり助けになったりするものがあつたなら幸いです。

現代文演習で扱った問題集の中に『旅の終り』という宇佐見英治さんの随筆が載っていました。宇佐見さんは、「人生は

かけがえない夢である」と言います。この夢とは、「将来の夢」などという時の「夢」ではなく、まさに眠った時に見る、実体的でないもの、おぼつかないものという意味での「夢」です。なぜなら、自分の人生でありながら、それは自分の意志とは関わりなく、何者かによって促された結果であるからと言うのです。確かに私自身、教師という道を自分で選んだと思っていました。教師をしていた母の影響、母校の憧れの先生との出逢い、大学時代に実習で教えた子どもたちとの出逢いなど、知らず知らずのうちに、周りの人たちに促され、導かれてこの道に進んだのかもしれない。宇佐見さんは、「人



卒業生お礼のこぼし  
田中宏樹

生は夢ではあるが、夢から覚醒することで、その夢は実現する」とも言っています。

皆さんの金光学園での友人や先輩後輩、先生方など素晴らしい出逢いによって、これからの皆さんの人生はあるべき道へと導かれていくのでしょうか。そして、その道で目覚ましい活躍をし、ぜひ自分の人生を実りあるものにしてほしいと思います。

### 素敵な人生を

小橋 聖里奈

たくさんの出会いがありました。あなただけに本気で喜び、本気で泣き、本気で怒ってくれる人は、かけがいのない存在。同じ教室で多くの時間を過ごした友達は、生涯の宝物となるでしょう。これからも沢山の人の出逢い、沢山の人の言葉に耳を傾け、幸せな未来を創り出してほしい。下さい。ちょっぴりシャイでとってもがんばり屋のみなさんへ、人生の門出に二つの言葉を贈ります。

『私は、実験において失敗など一度たりともしていない。これでは電球が光らないという発見を二万回してきたのだ。トーマス・エジソン』これから広い世

界に出ているければ、様々な困難が待ち受けていることでしょう。しかし何度壁にぶち当たろうとも、失敗しようとも、それは成功に近づくためのプロセスにすぎず、無駄にはなりません。自分の経験は、どれほど小さくても、百万の他人がした経験よりも価値ある財産。諦めず、チャレンジし続ける人でいて下さい。

『幸せとは、今得ているもの、今していることを好きになるところから生まれる。』トリーチェ』何かがあまくいかないう時、何か嫌なことがあつた時、自分は不幸だと落ち込んだり、他人を羨ましく思ったりすることもあつたでしょう。もつとこなりたいたいと前向きに努力することはもちろん大切。しかし変えられないことに対しては、自分の考え方を変えてみるのも一つの手。最悪に思えることも、「ま、いいか。これもありかな」と視点を変えてみましょう。考え方一つで物の見方が変わり、見える世界が変わりますよ。身近な小さな喜びを見逃さず、そして周囲への感謝の気持ちを忘れず、いつも笑顔でいて下さい。笑っていいれば幸せがきつとどんどん舞い込んできます。あなたたちの素敵な人生を、いつまでも応援して

います。卒業おめでとう。

### これから活躍するみなさんへ

藤原 俊浩

この3年間、社会が大きく変化する中で、たくましく頑張っているみなさんの姿を近くで見ることができたこと、そして、柔軟に物事に対応する力にとっても感動しました。また、みなさんの、日々の生活の中に関わることができたことをとてもうれしく思っております。これから、新たなステージへと踏み出すことになりましたが、自分らしさを大切にして、一歩一歩進んでいってください。これからも応援しています。

### 自ら考えて行動を！

成田 知弘

卒業おめでとうございます。皆さんと出会ってもう3年、たくましくなった姿を見て、本当にうれしく思います。

4月からそれぞれの道に進み、将来の進路を選択していくようになります。皆さんに身に着けてほしいのは自分で決断する力です。苦手な人は次のことから始めて下さい。

・些細な事でも積極的に決める

意識しないことでも積極的に決める。

例えば、今日は昼食に〇〇を食べようとか意識的に決めるなど。

・人に聞いてみる

決断するための恐怖心を克服するには、一人で考えるより、他人の意見を聞いて客観的に判断してみてもいい。

人生の中でこれを選べばよいという「正解」は無いように思います。だからこそ自分で作り上げていく「楽しさ」と「怖さ」があります。皆さんもこれからの人生を「自分」で決断し、後悔のない人生を送ってください。本当にありがとうございました。



# 卒業短歌

## ■ 1組 ■

朝7時母の呼ぶ声こだます

もう少しだけ夢へと帰る  
飯山 航

6年間母の作る昼ごはん

直接言えない感謝の言葉  
榎木 智裕

忘れないあの感動をもう一度

後輩に託した全国の鍵  
山口 颯太

友人と歌い楽しんだあの日々は

光り輝く思い出となる  
赤澤 綾音

## ■ 2組 ■

最高の仲間と過ごした二年半

甲子園より価値ある時間  
梅澤 秀太

未来へと惹きつけられ六年は

彩る一片人生パズル  
西森 翔真

傷ついたりかばんに寄り添うお守りは

苦楽を共に歩んだ証  
長谷川陽大

友達と毎日笑った帰り道

この日常が思い出となる  
朝原 奈菜

## ■ 3組 ■

友人と毎日交わす雑談は

くだらないけどここに來る意味  
小野 綾介

三年間友と過ごした毎日は

忘れることない永遠の思い出  
西原 英吾

蒼穹の我が思い出に背を向ける

メタセコイヤとうつりゆく日々  
乗藤 和聖

おはようとまた明日ねと交わす日々

離れる君にまたいつの日か  
宮本 桃花

#### ■ 4組

春の空惜しく届かず散ってゆく  
積んだ努力と秀麗の花  
大塚 元稀

白球を追い続けた六年間  
悔いを残さずラケットをおく  
高戸 快

六年の思い詰まったお弁当  
これで終わりと最後の一口  
岡部 美桜

ありがとう泣き笑った六年間  
思いを胸に未来へと  
道上実那子

#### ■ 5組

長かった艱難辛苦の受験生  
けれど未来は確かに手の中  
小笠原顕真

ありがとう思い出つまった制服と  
ポニーテールは私の青春  
谷本 果穂

学園の一つ一つの思い出が

ジグソーパズルをうめていく  
三澤 葵

何気なく秋天あおぐようにして

みだれ心を帰途鎮めつつ  
渡邊 文奈

#### ■ 6組

いざ結集窮地乗り切り拳上げ  
黄色の腕章掴む辛勝  
岡崎 准也

朝もやに電車と揺れて夢うつつ

差し込む光変わらぬページ  
佐藤 弘汰

楽しみは友との雑談ベランダに

響く笑い声空はさやけし  
廣江 純

何気ないこの毎日が幸せと

気付けたことがきつと幸せ  
山口 祐紀

#### ■ 7組

暑い夏みんなで必死に追いかけた  
ボールの感触今も忘れず  
内海 颯太

夕焼けに染まった車内に友三人

最後の車窓と弾む会話と  
三宅 智也

美術室絵具をかかえふりかえる

あの人が来たような気がして  
柴田 瑠菜

鮮やかに紅く色づくメタセコイア

未来の思い絵筆にのせて  
原田 叶奈

## 卒業を前に思うこと

### 生徒

#### シャボン玉

##### 1組 石井 大地

私は高入生として学園に入学しました。野球部の仲間しか知り合いがおらず、入学式の時のアウェー感は今でも忘れません。しかし、いつの間にかクラスメイト達とは仲良くなっていました。その中でも特に同じ方面の友達とは、ご飯を食べに行ったり、休みが一緒の日には集まって遊んだりしました。私達の高校生活のほとんどがコロナによって沢山の制限を受けました。その中で、思い出を作るために何かできることはないかと考え、体育会ではコスプレをしました。沢山の方々に迷惑をかけてしまいましたが、忘れられない思い出になりましたし、将来社会に出るうえで必要なことなど、とても大きな経験ができたと思います。コロナ禍において体育会を開催してくださったにもかかわらず、勝手な行動をしてしまい、

改めて反省しています。そしてありがとうございました。学校行事以外でも沢山の思い出を作ることができ、そのような友達ができたことは私の財産です。

これからは大学進学によって別々の道に分かれ、それぞれが将来の目標に向かって歩み始めます。また会う際に成長した姿を見せられるように、学園生活を通して学んだ「素直さ」「失敗を恐れないチャレンジ精神」、「すぐ行動」、この3つを中心に努力していきます。

最後に、両親、野球部のスタッフの方々、そして先生方、多くの友達、3年間ありがとうございました。

### 宝物

##### 2組 山本 真由

期待と不安を胸に、金光学園の校門をくぐったあの日からあつという間に6年が経ちました。卒業を迎えた今、金光学園での生活を振り返ってみると、私にとつて有意義でかけがえのないものだったと

感じます。

金光学園に入学し、初めての経験を沢山しました。ダンス部としてほつま祭で踊ったこと、体育会でチアをしてプロックをまとめたこと、韓国での語学研修に参加したこと、多くの経験が楽しく、輝かしいものでした。とはいえ、全てが輝かしい思い出というわけではありません。高校1年生の3学期、コロナウイルスが流行り出し、家庭でのオンライン授業を余儀なくされました。それまでの、「おはよう」から始まり、「また明日」で終わる何気ない日常が急に無くなり、友達に会えることが当たり前ではないということを知り、友達に久しぶりに会えた時の喜びは大きく、友達の大切さを改めて実感しました。修学旅行がなくなり、ほつま祭や体育会も例年通り行えないといったこともありました。積んだ全ての経験は私の成長の糧となり、今後の自信につながったと思います。

これからはそれぞれが新たな世界へ進んでいきます。夢の実現への道は決して平坦ではなく、険しい道を通ることもありますが、思いがあります。しかし、どんなに大きな

壁にぶつかつたとしても、金光学園での経験を糧として最後まで諦めず精一杯挑んでいきます。

最後に、真摯に寄り添い背中を押してくれた先生方、私の青春を色づけてくれた同級生、そして、金光学園に6年間通わせてくれた両親、本当にありがとうございました。金光学園での思い出は一生の宝物です。

### 変わることでできた3年間

#### 3組 高瀬 響

金光学園で過ごした高校生活、自分が大きく成長できたことを実感しています。学園入学当初は周りの雰囲気馴染みに馴染みましたが、自分から積極的に係活動や学校行事に取り組めたことで友達に出会い、学園生活をより良いものにしたと思います。その中でも2年生のほつま祭でのクラスの力で作り上げた演劇はとても印象に残っています。

私は勉強が苦手な方でしたが、友達やクラスメイトがそれぞれの志を持って一生懸命努力している姿を見て、自分も負けられないと感じ、自分なりの志を持って、自分にできることから精一杯頑張ろうと決意しました。

### 周りの人の大切さ

#### 4組 久山 知夏

金光学園に入学して6年間、辛かったことも楽しかったことも今ではすべてい

い思い出となっています。見慣れた通学路も、6年間過ごした校舎も、もう卒業すると思うと少し名残惜しいです。友達との何気ない会話が楽しくて勉強や部活動を頑張ることができたと思います。

この6年間で感じたことは周りの人の大切さです。私が1人で出来ることは限られます。これは誰しもに当てはまると思います。部活動で伸び悩んでいた時期、友人関係で悩んでいた時、支えてくれたのはいつも友達でした。また、受験期のテスト・面接対策をしてくださった先生方。金光学園での環境は私にとってとてもありがたく大切なものです。周りの人達のおかげで今の私があると言っても過言ではありません。そして、金光学園に行っていないとこんなに周りの人の大切さに気づけていなかったかもしれないと思うと、両親にも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これから大学生になるにあたって私は、たくさんの人の支えになりたいと思っています。自分から行動することが大事でそれはいつか自分に返ってくるということとをこの学園生活で学びました。みんなの笑顔を見ることが私にとってなにより

嬉しいことなので、よりたくさんの方の笑顔が見られるように過ごしていきます。大好きな友達と今までみたいに会えることが少なくなると考えるとやはり寂しいです。それでも、みんなの夢が叶っている未来を想像すると、将来がとても楽しみです。次に会う時お互い笑顔で会えるよう、みんなに負けないう努力しようと思います。6年間本当にありがとうございました！

### 感謝

#### 5組 中藤 浩文

転校生として金光学園に入学したのはまるで昨日のようですが、あつという間に卒業を間近に控えてしまいました。ここでこれまでの短い4年間の学園生活を振り返ってみようと思います。

私の学園生活4年間は、みんなに支えられたものでした。

入学当初は、不安と期待で胸がいっぱいでした。日本語はあまり良く話せなかったの自分からあまり声を掛けることができませんでした。始業式のときも周りの人は皆お互いによく知っているように、自分1人でいるのがすごく不安でした。

しかし、そのあとは何人かが話しかけてくれてクラスの皆は優しく扱ってくれました。修学旅行のグループを決める時に滝井くんに誘われて初めて、自分がよ者ではなくクラスの一員だと感じました。中学3年5組の皆さんと担任の東山先生のおかげで私は徐々に積極的に会話をすることができるようになりました。

高校からバドミントン同好会に入会して、友達との輪がさらに広がりました。高校2年生になってから今のクラスに入り、

正直言って、最初は変なクラスだと思っていた。23人のクラスで男子がわずかに6人しかいないからです。しかし、クラスの女子は皆明るくて、男子は皆優しいです。友達がすぐでき、女の子にも自然に話しかけられるようになりました。受験期には特に担任の土谷先生に頼りっぱなしでした。自己推薦書の書き方、プレゼンテーションの指導など、様々なところで先生の力を頂いて、何度も何度も面接の練習にも付き合ってもらい、無事合格することができました。

大切な友人やたくさんの先生方に恵まれて今日まで成長することができました。皆の恩恵を忘れず、これからも未来に向

かって頑張っていきたいと思っています。そして金光学園に来たことを本当に良かったと思います、ありがとうございました。

### 謝々！

#### 6組 田中 宏樹

金光学園卒業の時が近づき、僕は新しい旅に出る準備をしている。振り返ると、ここ道ながらご縁に恵まれとても充実した6年間だった。

生き物に興味のあった僕は金光学園中学校、高校と生物部に所属した。中学校入学前の小学生の時に金光学園の「川の教室」に参加した。講師の岡山大学の先生から里見川のエビについて学び、ここで部活動をしたいと迷わず入学、入部した。部員と一緒に放課後川や山で生き物を追いかけ、観察したり飼育したりしたことはよい思い出だ。

中1の時、先輩たちが生物教室で発表していた探究発表会を聞いた。講評された大学の先生のお話から、「人の役に立つ研究」をするおもしろさと重要性を知り衝撃を受けた。その先輩たちのように、僕も研究したいと思いはじめた。

中2になって研究を始めた。目標とし

たのは、人の役に立つ研究だ。みなさんはモクズガニをご存じだろうか。在校生の中には、僕がカニの研究をしていることで知ってくれた人もいるかもしれない。モクズガニは降河回遊種といって、海で生まれ川に遡上して成長し、再び海に下って産卵するカニだ。水産有用種として岡山県でも高梁川をはじめとする河川で漁獲されてきた。僕もカニ汁を食べることがあるが出汁が濃厚でとてもおいしい。漁獲量が減少していることを知り、保全を大きな目標に研究を始めた。研究を通して、多くの人にお世話になった。各大学の先生方、岡山県農林水産総合センター水産研究所の方々、農家の方々、探究活動をサポートしてくださった先生……。専門的なご指導を頂いた方々もたくさんいるが、研究を知って協力してくださったったり、視野を広げてくださったりした方々もたくさんいた。学園の友達や家族も応援してくれた。すべての方々へ感謝し、このご縁を糧にして、僕は新しい旅の一步を踏み出そうとしている。将来は、生態系保全をテーマに、生態システムについて研究したいと考えている。農学はもちろんのこと、経済、文化など、

教養を身に付けて広い視野を持った研究者になりたい。

最後に、僕の人生を彩るバンド・スピッツの名曲「僕はきつと旅に出る」(作詞：草野正宗)を紹介したい。

「僕はきつと旅に出る

今はまだ難しいけど

未知の歌や匂いや

不思議な景色探しに

星のない空見上げて

あふれそうな星を描く

愚かだろうか？

想像じゃなくなるそんな時まで」

新しい旅での出会いを楽しみにしている。

## 「志」を持つて

### 7組 李 之勢

私は金光学園に入学して6年間、多くのことを学んできました。

一つ目は、団結することの大切さです。金光学園では、ほつま祭や体育会をはじめとした様々な学園行事があります。そのほとんどが団体行事であり、コミュニケーションを取らなければならない状況が非常に多かったです。正直に言うと気がのらない、という時でも周囲の状況に

合わせながら、かつ自分の意見をもったうえで、その場でもうまく波長を合わせる術を会得できました。めんどくさいと思うこともあったのですが、なんだかんだで真剣に取り組んで楽しみました。

高校に上がったからは、1年の終わりにコロナウイルスが流行し始めてから、オンライン授業が始まりました。そのなかで、zoomの使い方を覚えることができたので将来に役立てようと思います。

それまででない「新しい」生活が始まりました。食堂のラーメンが好きだったので、食べられなくなったのは非常に残念でした。思い通りにならないことが増え、何が正解なのか分からないという状況に陥ることもありました。

そのような悶々とした学校生活が続く中、いよいよ受験シーズンとなり、高3の夏ごろから志望理由書や面接の対策をするようになりました。その時期に、先生に「最適解ということばを時々使っているね」と言われました。何気なく使っていたことばなのですが、このような時期だからこそ、「最適解」を自分で考えて求めていくことが大切だと思います。様々な情報が飛び交い、その情報に人は

惑わされがちですが、自分の「志」を強くもっていけば道は開ける、そう信じて今後も自分の道を歩んでいきたいと思えます。そして、今まで学んだことを活かして、正しい対処ができる人にならなければならぬと思います。

## 保護者

### それぞれの思い出

#### 1組保護者 錦織 昌子

中学高校を金光学園で過ごした夫。地元に戻り仕事をしていることもあり、友人のほとんどが元学園生です。頻繁に出かける事に時々腹も立ちますが、オジサンになっても続く友情を羨ましくも思えます。自身の卒業アルバムや成績表を子供達と見る姿に、共通の思い出が出来て良かったと思いました。

そして、小中高と公立学校で育った私。私立学校に対する憧れと興味がかなり強く、金光学園のオープンスタイルでは、見るもの全てに感激したことを思い出します。晴れて金光学園の保護者になれた私は、コーラス部のコンサートや吹奏楽部の定期演奏会を楽しみ、夜の保護者会？

では担任の先生方や保護者の方と親睦を図ることが出来ました。また同じ部活動のお母さん方には大変仲良くしていたいただき、多くの時間を共にしました。子供達に負けないほど楽しみ、我が子達の成長と一緒に見届けたことが一番の思い出です。

さて、高3の息子……「金光学園に入ると良かった」と中学入学間もない頃、学校での出来事と共に話しておりました。クラスや部活動の垣根なく多くの友人に恵まれました。平穏な日々ばかりではなく、登校する足取りが重い日もあったはずです。親の知らない所で様々な経験をし、友人に力を借りて過ごしてきたのかな？ 友人と過ごす時の楽しそうな顔や真剣な表情に、充実した学園生活を感じ、嬉しく思います。卒業後も、この出会いを大切にして欲しいです。勉強面では、エンジンが掛からず終了。でも春から大學生。「金光学園に入って、本当に良かったね」しみじみ思う母です。息子の良いところを探し、褒めてご指導くださった先生、支えてくださった友人の皆さまに心より感謝申し上げます。

## チャレンジ

### 2組保護者 藤木 千穂

思えば6年前、「金光学園に行つて勉強したい」と言い、岡山市から電車通うことが続けられるのか、不安な学園生活のスタートでした。入学前に、自宅から最寄りの駅まで自転車で行く練習をしたのが、つい昨日のようです。

入学後、対人関係が上手くいかないこともあり、SOSに気付くことが出来ず、つらい思いをさせてしまいました。部活動に参加するようになり、顧問、部員の仲間たちに支えられ最後まで続けることができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナ禍での高校生活はデメリットを感じることがありましたが、休校時には庭の改修、筋トレ器具の組み立てを行い、自宅でトレーニングができるようになりました。飽き性の性格のため、どのくらい続けられるか？ すぐに辞めてしまい粗大ごみにならなければいいなと思っていました。

そんな心配もよそに、毎日のトレーニングに火が付き「ボディビル大会に高校生の間にチャレンジしたい」と。希

望を高く持ち日々の過酷なトレーニングが始まりました。御縁をいただき、元ボディービルの経験者の方から御指導していただき、日々変化していく筋肉に魅了され毎日のトレーニングを積み重ねると同時に、食事制限も行いました。コロナの感染状況によっては大会の開催も危うい中、有観客での全国大会が開催されることとなり、東京まで車で向かい、祖父と一緒に大会を見届ける事ができました。コロナ禍でのステイホームがなければ、今回の経験もできなかったかもしれない。今、現在も筋力トレーニングを続けており、高校卒業後も継続し高みを目指しチャレンジするようです。

チャレンジすることの楽しさ、辛さの先の感動など、いろいろな経験をし、今後の自分の目標に向かって進んで行ってみたいと思います。

学習面、生活面、精神面での御指導いただき子供と一緒に成長することができました。ありがとうございました。

無事学園に入学できたものの当時の私の中では心配や不安しかありませんでした。そんな思いを知ってか知らずか本人はマイペースに学校に通い、少ないながらも気の合う友達もでき、昼休みには図書室に通いつめ、だんだんと学園生活に慣れていったようです。中学2年で役員をさせていだいたとき、学年主任の石田先生に諸々の不安を話したところ「だんだんとできることも増えてきているから大丈夫ですよ、お母さん。高校卒業までには仕上がりますよ」と言っていた。少しほっとしたことを覚えています。息子にとって金光学園にきて良かったことは？と聞いてみると「図書室の本が充実しているところ！ライトノベルも置いてあるし」と即座に答えるほど図書室は大好きで安心できる場所だったようです。特に中学図書室の先生にはお世話になったようでおすすめの本をいろいろと教えていただき、その作者が大好きになって何度も同じ本を読んでいました。息子が言うには発売されたばかりの最新刊が置いてあるとのこと。私も市の図書館ではなかなか借りることのできない最新本を借りてきてもらい活用させてもら

## 心の成長に感謝

### 3組保護者 岡本 理奈

「金光学園で生物部に入りたい！」オーブンスクールの帰り道、息子が力を込めた言葉。自転車、電車と1時間乗り継いで通えるのか不安もありましたが、心配は無用でした。入学してからは、友人に恵まれ、念願の生物部にも入り昆虫採集をしたり、遥照山に登ったりとのびのびと過ごし「学園生活が楽しくて仕方がない」というようでした。どちらかといえば、素直だけどのんびりとした息子。しかし学年団の先生方はどんな時でもせかさず見守るという我が家の教育方針を尊重してくださり、いつも穏やかな温かい目で見守ってくださいました。

高校からは、コーラス部と掛け持ちするようになりました。私まで一緒に頑張って応援に行く楽しい日々。高2からはコロナ禍となり、合唱祭もきなみ中止に。悔しい思いもたくさんした中で、仲間たちと励ましあい前を向いて歌う姿に元気をもらいました。スプリングコンサートでは私も衣装を手伝わせてもらいました。スプリングの帰りに「スプリング手伝ってくれてありがとう」と言葉にしてくれま

した。多感な思春期に親にお礼が言えるなんて……。学園での日々が息子の心も育ててくれたと感激しました。

徐々に自主性も芽生え、探究活動では、休みの日も金光まで出かけ熱心に研究していました。

学園での数々の経験が、新しい生活を迎える息子に自信を与えてくれました。

役員で出向くと、高校の先生だけでなく、中学で担任してくださった先生もいつも声をかけてくださいました。

息子と切磋琢磨してくれた仲間たち、携わってくださった全ての先生に心より感謝申しあげます。

最後になりましたが、金光学園の益々のご発展をお祈りいたします。

### 六年間を振り返って

#### 4組保護者 佐藤 朋子

「一番向こうの窓際でポーンとしている子をついてください」と廊下にいた先生にお願いした最初の参観日から早6年。マイペースで授業中も教科書とは別の資料に集中してしまい1人だけ他の世界にいつってしまう息子。自分の意見や考えていることもなかなか発信できない息子。

いました。安心して通える場所がある、話せる人がいるということ息子にとっで楽しい学園生活になったのではないかと思います。本当に感謝しかありません。最後に中学・高校と多感な時期の子どもの成長を温かく支えていただいた先生方・学校関係者に感謝いたします。金光学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 心に残る日々

### 5組保護者 清水 裕子

「人をたいせつに、自分をたいせつに物をたいせつに」12年前、長女の金光学園入学時に、皆様ご存知の学園合言葉の意味を教わりました。この合言葉を心に刻めば、いじめも、自殺も、争いもどんなに減るだろうと、学園初心者私は、深い感銘を受けました。次女、三女も学園に入学し、12年間もお世話になりました。支えてくださった皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

#### 〔陸上競技部〕

三娘とも、陸上競技部で競歩に取り組みました。サポーターとして多くの大会の応援に行き、たくさんの方の賜物を

見せてもらいました。平成27年6月、鳥根での中国地区予選は、長女が自己新記録でまさかの3位入賞を果たしインターハイ出場を決めた忘れられない大会です。和歌山インターハイでは猛暑の中、完歩仕切りました。次女、三女も中国大会に進むことができました。次女、三女も中国大会に進むことができ、佐藤洋平先生をはじめとする顧問の先生、支えていただいた担任の先生、先輩方のご指導あつてのゴールだと感謝しております。

#### 〔保健室〕

電車通勤中の私に、「どうしても教室に入れません」と金光駅の公衆電話から当時中3の末娘が連絡してきました。その日より、保健室登校が始まりました。「まさか我が子が」の出来事でした。学校に行かない選択肢もありましたが、子どもには学校に行く権利があると思ひ、毎日お弁当をもたせ送り出しました。「子は親の鏡」と考え、私自身を見つめ直す大きなきっかけとなりました。子どもと共に、親も成長していかねばと強く思った出来事でした。

#### 〔三娘三様〕

部活も、探究ゼミも、勉強も頑張る長女は時々空回りしていましたが、二浪の

末希望学部に入學し、同級生が社会人になつている今もテスト三昧の大学生生活を送っています。部活も、勉強もそれなりに、楽しいことが大好きな次女は、高3夏の大胆な学部変更で、土谷先生を驚かせました。最後に底力を見せ、東京の大学を射止めました。エンジョイ大学生生活もつかの間で、新型コロナウイルスの共存を圖っています。まったりと進んできた三女ですが、医療系へ進んだ姉たちとはまったく違う道を模索中です。先日、その末娘が六年間を振り返り「学園、本当に楽しかったよ」と話す様子を見て、安堵しました。楽なことはかりではなかったかもしれませんが、最後は「ああ楽しかった」と言つて卒業できることに感謝し、良き師や友に巡り会えたことを忘れないでください。この出会いが、将来の糧となることを祈つて、皆を送り出したいと思います。

### 学園卒業を前に想う事

6組保護者 柝屋 緑

娘の学園卒業を目前にして、私の保護者としての学園生活にも終わりが近づいている事を感じて寂しく思つております。娘が私のお腹の中で過ごしたのは7ヶ月

少々。早産で出産してしまつた18年前、罪悪感と不安で眠れぬ日々を過ごしました。体重の1グラムの増減に一喜一憂する毎日を経て、ゆっくりゆっくり元気に大きく育ってくれました。

甥が金光学園に通つていたことがきっかけで学園に興味を持ち、「自分も通いたい！」と思ひを持ったようです。ご縁を頂き通ひ始めたのが昨日の事のように感じます。

中学生生活が始まると日に日に出来る事が増え、それを嬉しそうに話してくれました。食堂で初めてうどんを食べた事に、今では座つたままは勿論立つたままでも寝られるまでに心も体幹もしっかり育つた事。知らない人に話しかける事が苦手だったはずなのに、駅の券売機の前で困つていたおばあちゃんに声をかけて目的地までの切符を一緒に買えた事。

高校生になると段々と口数が減り、反抗的な態度を見せる事も多くなりました。それでも電気科学部の活動で先輩方と一緒にモノづくりをする事の楽しさや達成感にあふれる日々を過ごしていたようです。娘の学年はコロナ禍の影響を大きく受

## 会報

令和3年度3学期も新型コロナウイルス感染症の影響で、まん延防止等重点措置適用期間(1/27~3/6)を除いて保護者会活動はできる範囲での活動となつた。

**手作り会とサークル活動** 11月から庶務部を中心に手作り会が始まつた。また、サークル活動もコーラス・ハンドクラフト・和賀心の会が活動している。

**第2回全役員会・第4回評議員会** 2月7日(月)に「第2回全役員会・第4回評議員会中止のお知らせ及び書面報告とご協議等のお願ひ」文書を全役員に配付した。主な報告事項は以下の通り。①令和3年度会計決算見込みについて。②友愛セール収益金について。③令和4年度会長・副会長・監事の選出について。選考委員長、岡本理奈。選考委員、爲房友佳、山田啓子、高倉優子、小出貴江、橋本里美。(敬称略) ④地区会のお礼。⑤教職員外部診断ご協力のお礼。⑥令和4年度の地区

け、友達と思うように過ごせないもどかしさがあったり修学旅行をはじめとする行事が中止や規模縮小になるなど我慢の多い学年でした。この先もまだしばらくは見えないウィルスへの恐怖や不安と戦う日々が続くと思いますが、ここからの新しい人生に向けて力強く一歩を踏み出して欲しいと願ひます。

最後に、校長先生をはじめとする先生方、学園生活を共に過ごしかけがえのない思い出と一緒に作つてくださった皆様にご心より感謝申し上げます。

金光学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

### 金光学園とともに

7組保護者 三宅 亜紀

金光学園にご縁をいただいで、早いもので6年の月日が流れました。息子が金光学園に入學したころは、150センチもない身長でしたが、今では173センチに成長し、いつの間にか声も低くなり、たくさんの過程を経て成長いたしました。中学校に入つてからは、バスケネットボール部に所属しましたが、体力の限界、人間関係につまずき、学校生活が苦しい時

委員・評議員選出について。⑦第5回評議員会のご案内。⑧金光教春の大祭の接待奉仕について。⑨令和4年度やつなみ保護者会総会について。

次回3月24日(木)最終の評議員会で審議・議決を予定している。

### 諸会合

この期間の諸会合は、中止か書面協議となつた。

○3月15日備西地区PTA連合会監査。小野会長参加。



## 今年度 嬉しかったこと、 元気をもらった話題 ベスト3

長く寒かった冬も終わり、春の息吹を感じる季節になりました。4月には新年度がスタートしますが、今年度を振り返って、私にとって嬉しかったことや元気をもらったことのベスト3は、①オリンピック・パラリンピックでの感動、②大谷翔平選手の活躍、③映画「とんび」の話題でした。そして、反対に残念だったことや悲しかったことのワースト3は、①コロナの感染が続き収束できず、いつも心配な気持ちで過ごしたこと、②コロナのために楽しみにしていた行事や催し事が次々に中止になったこと。内容は全く異なりますが、③2月下旬に突然始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻でした。

### 「元気をもらったこと」ベスト3

①東京オリンピック・パラリンピックは異例の1年延期されたので、東京での57年振りの開催で、無観客であったり、多くの制限があったりする中で開催ではありましたが、選手たちの頑張りに感動・感激の連続でした。メダルを獲得した種目は体操、柔道、レスリング、ボクシング、水泳、ソフトボール、野球、空手、フェンシング、スケートボードなどでしたが、残念ながらメダルに届かなかった種目でも多くの感動的なドラマが演じられました。続くパラリンピッ

クでは卒業生の井上全悠選手が卓球の個人戦と団体戦に出場し、さらに創立120年の記念式の講演に来て下さった谷(佐藤)真海さんは開会式では旗手をつとめ、トライアスロンの選手としても出場するなど、一層応援に力が入りました。障害を持つ選手たちが、その障害を乗り越えて頑張っている姿にはオリンピック以上の感動がありました。そして、東京オリンピック・パラリンピックが1年延期されたため、北京での冬季オリンピック・パラリンピックが半年後の同じ年度内に開催されるということになりました。つい先月の2月ことです。から記憶も新しいですが、スピードスケート、フィギュアスケート、スノーボード、モーグル、カーリング、ジャンプ、ノルディック複合などで、日本は過去最多18個のメダルを獲得しました。私は、前回のピョンチャン冬季オリンピックは日本選手団団長が学園の大先輩の齋藤泰雄さん(元フランス大使、ロシア大使)だったので、大会前から応援に力がいっていました。正直に言って、この度の北京大会は、自分の中では盛り上がり欠けていたのです。しかし、いざ始まって次々に競技が行われる中で、日々感動の連続になりました。メダルを獲得し、活躍した選手はもちろんのことですが、羽生結弦選手や小平奈緒選手や高梨沙羅選手など、思う結果を残す事が出来ずに終わってしまった選手たちの姿にも大変感動したようなことでもあります。この原稿を書いている今はまだ冬季のパラリンピックは始まっていませんが、きっとパラ大会も一生懸命応援すると思います。

②2つ目は大谷翔平選手の二刀流の活躍です。野球が大好きな私にとって、本当に明るい話題でしたし、大変元気をもらいました。先日の高校卒業式の送辞にも取り上げられていましたが、私も同じ気持ちを持ちました。シーズン中に連日伝えられる彼の活躍は、日本中を明るくしたのではないかと思います。そして、その打者と投手の二刀流の活躍が、アメリカや世界で絶賛されていました。私が一番嬉しかったのは、彼の言動や人間性や立ち振る舞いが高く称賛されていたことであり、同じ日本人として誇らしい気持ちにもなりました。もうすぐシーズンも始まりますが、今年も素晴らしい活躍を見せてくれるだろうと期待しています。

③3つ目は映画「とんび」の話題です。この「とんび」の事は金光町でメインロケが行われた一昨年以來、このやつなみの「道」でも何回か取り上げさせて頂きましたが、私を元気づけてくれた話題でした。先日浅口市報の3月号の表紙に「とんび」のロケ地やあらすじが掲載されていました。

この4月8日の封切りに合わせて、ロケ当時の昭和の街並みを4月11日から約2か月近く再現すると聞きました。もし機会があれば再現された街並みも多くの方に見に来ていただきたいと思います。先日封切り前の試写会に行った知り合いから、「とっても良かった。涙を何度も流しながら見させてもらった」との話を聞きました。岡山県が生んだ直木賞作家の重松清氏の小説「とんび」の初の映画化、親子の絆を描く家族の物語を是非皆さんも見て頂きたいと思

以上、今年度私の元気をもらったことベスト3について書きました。ワースト3についてもそれぞれ色々な思いがありますが、書けばなお心配や残念な思いや悲しい思いが募ってくるので、今回は触れないことにしますが、3年目を迎える新型コロナウイルスの収束を強く願いたいと思います。そして今行われているロシアのウクライナへの軍事侵攻に対して、国連や国際社会の声が届かない中、私たちに「何か出来ることはないのか」「どうにかならないのか」と、本当にいたたまれない気持ちになってしまいます。先日、日本赤十字社が人道支援のための募金の窓口を開くと伝えられましたので、せめてということと、やつなみ保護者会、ほつなみ同窓会、学園教職員で、募金をさせて頂いていただくことにしたところですが、今の軍事侵攻については、一刻も早く止まり平和が訪れることをともに心から祈らせていただきますと思います。



浅口市広報

## メタセコイア

リアビズ高校生模擬起業グランプリ  
経営こころの学びと成長

高2 玉川 小桜

私たちは探究学習でデニムゼミに所属しています。その中でリアビズ高校生模擬起業グランプリに応募し、全国49校のうち10校に選ばれました。そして模擬企業「じーんず」を起ち上げました。メンバーは社長の三宅彩乃、人事法務部長の山本はる、経理部長の村上由華、仕入れ部の大橋沙和・竹中琉乃・松浦伽奈、広報マーケティング部の玉川小桜・坂野友美の計8名です。先輩の取り組みから始まった井原市のデニムを使用したコースター「歩成り金デニムコースター」を製作・販売しました。

縫製をお願いした青木被服さんとの商品の打ち合わせや、手売りでの販売、商品の梱包や発送作業まで自分たちで行い、その結果1か月の販売期間で見事完売することが出来ました。

また、多くの方々の協力もあり、金賞をいただきました。初めての経験ばかりで苦労しましたが、経営について深く学び、自分たちの成長も感じています。

3月18日にはエシカル甲子園に中国地方代表として参加します。こちらも一杯頑張ります。



全国高等学校グローバル探究オンライン発表会  
日本語発表部門 銀賞

これからも邁進したい

高2 平田 大輝

私は全国高等学校グローバル探究オンライン発表会で銀賞をいただきました。総勢約70校の中学・高校に所属する生徒が、現代の国際問題について動画を作ったって、意見交換をしました。動画を作るにあたって、何時間も試行錯誤を繰り返し、納得のいくものを完成させることができました。その努力が実を結び、銀賞を取ることができたのでとてもうれしく思います。また、作品を撮影する際などに手厚くサポートしていただいた先生方には感謝してもしきれません。今回の結果をよしとせず、これからもさらに邁進していこうと思います。



# 活躍おめでとう

《中学男子バレーボール部》  
全日本中学校バレーボール選手権大会第3位  
周りの方々の支え

中3 木地 悠輝

僕は全国大会に参加して感じたことがあります。それは周りの方々の支えの大切さです。3年間ともにプレーした仲間、3年間世話をしてくれた保護者の方々、3年間熱心に指導してくださった石井先生



生、多くの人に支えられて3年間バレーができていたんだなあと改めて実感しました。

それを実感した出来事が全国大会です。決勝トーナメント2試合目、岩手県代表宮野目中学校との試合で僕が連続して何本もミスしてしまいました。その時、僕はチームに多大な迷惑をかけたのに笑顔で僕に声をかけてくれ、保護者の方はギャラリイの上から声援を送ってくれ、石井先生はミスを忘れられるようなアドバイスをしてくださいました。そのおかげで僕は何とか持ち直して、第1セットは取られてしまいましたが、第2、第3セットはなんとか勝ち取ることができました。そして最終的な結果としては全国大会3位という記録を残すことができました。

この全国大会で、改めて周りの方々に支えられて生きているんだなと感じました。必ず何らかの形で恩返しできるよ

《中学放送部》  
NHK杯中学校放送コンテスト全国大会出場  
自分の「声」と向き合って

中3 中山 亜美

この度、放送部はNHK杯全国中学校放送コンテストで、全国大会に出場しました。おしくも予選敗退となりましたが、さまざまな経験を得ることができました。放送部門では、校内ニュースやニュース解説など、自校の校内放送用の原稿を読むアナウンス部門と、指定作品のうち、一編を選び自分の表現したい部分を決め朗読する朗読部門に参加しました。音読の練習を毎日のようにし、自分の声と向き合って今の自分を成長させることができました。

映像部門では、放課後に流れる25分前、5分前を知らせてくれる放送の声を主

探すというテーマで編集や撮影構成などを全て自分たちだけで行い、テレビ番組のようなドキュメンタリー映像をつくりました。初めて取り組んだ編集作業やカメラワークに戸惑いながらも、部員や参加してくださった先生方や生徒の皆さんと協力して制作することができました。全国で結果を残すことはできませんでしたが、来年は今年よりもより良い成績が出せるよう頑張りたいです。



### 《中学陸上競技部》

全日本中学陸上競技選手権大会出場

4×100mリレー

全中の借りは全中で返す

中2 爲房 百恵

8月18日に茨城県で開催された全日本中学陸上競技選手権大会に4×100メートルリレーで出場しました。会場に

は各県の代表選手がたくさん集まっています、今までに感じたことのない緊張感を肌で感じることができました。同時に、自分たちが岡山県代表だということをその場で強く実感しました。

周りに圧倒されて自分たちの持っている力を発揮できず、予選落ちという悔しい結果で終わってしまいました。目標としていた「全中での決勝進出」をかなえることはできなかったけれど、自分たちの弱い部分に気づき、多くのことを学び、次につながる経験になったと思います。先生や友達、家族など応援にいつも励ましてもらい、応援してくれる人がいるありがたさを改めて感じました。さらに、お互いを信じ合ってバトンをつなぎ、メンバーとの絆を深めることができました。「全中の借りは全中で返す」をモットーにこれからもコツコツと練習を重ね、次こそは全中の決勝の舞台で勝負できる選手になります。



### 《音楽部コーラス》

全国高等学校総合文化祭 合唱部門推薦出場  
全国総文祭で歌えたことに感謝

高2 川上 真央

ぼく達音楽部コーラスは、2021年8月6日に和歌山県で行われた全国高等学校総合文化祭に出場しました。厳しいコロナ対策がなされた中での演奏となりましたが、それでも歌う機会をくださったことを嬉しく思っています。今回得た技術を活かして、3月に行われるスプリングコンサートにむけて最後まで頑張っていきたいと思います。

## やつなみ保護者会のページ

金光学園音楽部吹奏楽団での経験を振り返り

音楽部吹奏楽団 保護者 岡本 慎治

まずは今年卒業される3年生並びに保護者の皆様、本立におめでとございませう。娘はオーブンスクールに参加したときに魅了された吹奏楽団にワクワクドキドキで入部しました。

入部してからは中学2年生の時に岡山県アンサンブルコンテストにクラリネットパートの同級生3人で出場、その後アメリカ合衆国への訪問演奏、続いて長野県松本市で開催の全国高等学校総合文化祭に岡山県代表で出場しました。その他ほつま祭やたくさんの演奏会で部員一丸となって私たちを楽しませてくれました。

しかし高2になってからは新型コロナウイルスの影響により創部100周年記念講演会は延期になり、翌年の自分たちの最後の定期演奏会の開催も危ぶまれましたが、感染予防を徹底し、開催することができました。

先輩や後輩、同級生、先生方、保護者の皆様方の頑張り、ご協力、御尽力により試練を乗り越え、このような形で部活動を終えることができ、感無量です。人一倍人見知りや引込み思案な娘も成長したように感じております。吹奏楽団に所属していたおかげで娘の学園生活は本当に充実していたと思います。金光学園音楽部吹奏楽団には本当に感謝しております。

最後に吹奏楽団のみならず金光学園すべての卒業生の今後の飛躍を期待しています。

### 絆

バレーボール部 保護者 榎間 順子

「金光学園でバレーがしたい」と息子がら打ち明けられた日のことは今でも鮮明に覚えています。常に県内トップを維持している金光学園バレー部に入り、部活と勉強の両立をすることは並大抵の努力

では出来ないかと心配しましたが、本人の強い意志、そして全国大会に出場したいという夢があることを知り、息子の夢を応援することにしました。

入部当初は、自身の体力の無さと練習量が毎日ヘトヘトになって帰って来ましたが、先輩方や仲間を支えられてキツイ練習も何とか乗り越えることができました。試合前には全国を目指すための厳しい練習や叱咤激励もありましたが、その言葉には子供たちへの愛がいつも感じられました。そして何より、どんなに忙しくても毎日欠かさず練習に来てくださり、ご指導してくださった先生方に心から感謝を申し上げます。

その練習のおかげで子供たちは少しずつ成長し、中学では全国中学校体育大会に出場するという1つの夢を叶えることができました。高校1年の時も先輩方にインターハイに連れて行っていただき、全国の強豪校との対戦を目の当たりにし、次は自分たちの番だという時に新型コロナが蔓延、悉く大会が中止になり練習や遠征も思うようにならなくなりました。

先の見えない不安に戸惑いや悔しい思いをし、夢は叶えられませんでした。

先生方の愛のあるご指導の下、6年間同じ環境で先輩や仲間とバレーができたことは、子供たちにとってかけがえのない時間だったと思います。そして、卒業してから一緒に練習したりバレーを教えてくださったり、大会時にはいつもたくさんさんの先輩方が応援に来てくださる姿を見て金光学園バレー部は本当に強い絆で結ばれていると感じました。子供たちも良き伝統を受け継ぎ、先輩後輩の強い絆、人や物に感謝する気持ちをいつまでも持ち続け、金光学園で学びプレーした6年間を誇りに次のステージで躍進することを願っています。

今日までご指導いただいた先生方、本当にありがとうございます。

### かけがえのない仲間に出会えた喜び

サッカー部 保護者 岡崎 香

入学前からサッカー部に入ると心に強く決めていた息子はこの6年間、大好きなサッカーと真剣に向き合ってきました。初めに顧問の先生から言われたことは「自分達で考えるサッカーをしよう」と。自分達に足りないものは何か、どんなトレーニングに必要なものは何か、どんなトレーニング

ングをしたらいいのかを選手同士で話し合いメニューを考える。その小さな積み重ねが選手一人ひとりの意識を変え、チーム皆で成長していったのではないかと思っています。

高校3年の総体予選。勝てば県大会出場が懸った大一番。全力を尽くしたものの結果はそれまでの努力にふさわしいものではなく悔いの残る試合となってしまいました。グラウンドに伏して人目も憚らず涙する選手達。互いに肩を叩きながら、一言二言の短い言葉を交わし再び立ち上がる。その姿を目の当たりにした私は「この子達はこれから先の人生もきっとこうやって仲間と共に戦い、次の目標に向かって歩き出していってくれるのだろう」と感じました。この6年間の部活動が息子の今後の人生の礎になったことは間違いないと思います。

心を育む仕上げの時期に温かく寄り添いご指導頂いた顧問の先生方には本当に感謝申し上げます。6年間ありがとうございます。ありがとうございました。

### 娘との時間の中で

文芸部 保護者 柴田 秋代

この度ご卒業される3年生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

ご縁あって金光学園に入学させて頂いてから早6年の歳月がたち、小さく心許なかった娘も心身共に成長することが出来たのではないかと、親目線で手前勝手に誇らしく思っております。

幼少期より、本を読む事が大好きだった娘は、入学した当初より「文芸部」を希望していました。日々、自分の心から溢れ出る言の葉を文章に落とし込み、毎月作品集を作り上げては部員の皆さんと顧問の先生とで各自の作品に対する批評会を開く中で、文章力、表現力の向上をはかり、ヒトに読んでもらえ、ヒトに伝わる言葉とは何か、数多ある感情の某かを与える事のできる作品づくりとは何かを研鑽していました。産みの苦しみと言いますか、一つの作品を書き上げるのに要する時間は限り無く、たった一行の文章の良し悪しを考える作業には終わりが無いかのように見えました。けれど親として、作品について助言を求められる時、書き上げた作品を読ませて貰える時、

その間に得た娘との交流は、遠い昔の学生時代の部活動をもう一度体験させて頂いているかのような、貴重な時間だったと思っています。切磋琢磨し、共に歩んでくれた仲間、先生との出会いは、娘にとって一生の宝物になったと思っています。これからも、絶えぬ関係を続けて下さりますよう、心からお願ひ申し上げます。そして、このような出合いを与えて下さった、歴史ある金光学園の今後益々のご発展を、卒業後のその先も心よりご祈念致しております。これまで、本当にありがとうございました。

### 教養部編集後記

教養部 小出 貴江

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。本年度は昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、例年とは違う形になったものが多くありました。常にマスク着用の学園生活、あらゆる行事の変更や中止、また延期がありました。その中でも、一大イベントのほつま祭が中止になったことは、本当に残念でなりません。保護者の活動もまた然りで、役員の方々の新しい

出合いと活動に、新鮮な気持ちで臨んだのも束の間、保護者会の中止が続き、皆さんとの活動はほほえないまま終わりを迎えることとなりました。何とも言えないもどかしさ、大人でも感じるので、子どもたちはより一層感じているのだろうと、とても切ない気持ちになりました。でも、生徒の皆さんは、そんな中でも目標や楽しみを見つけ、悔いのない学園生活になるよう頑張ったのだと思います。卒業が近づくにつれ、新生活への期待と不安、喜びや悲しみを分かち合った友との別れ、コロナは収束するのだろうかなど、様々な想いが湧き上がっていると思います。でもそんな時は、多くの先生方の厳しくも愛ある言葉、共に過ごし他愛のないことで笑った友人との時間、窓から見たメタセコイアの木々や景色を思い出してください。それらすべてが、これからの心の支えとなり、誇りになることとあります。

最後になりましたが、この一年間でやつなみの原稿を執筆してくださった方々、お忙しい中本当にありがとうございます。また、お力添えいただきました先生方、役員の皆様、保護者の皆様、多くの出



# 木を見て人は育つ

ヤマハ株式会社

仲井 一志 (高54回卒)



森林は地球の陸地面積のうち30%程度を占め、太古の時代から人類の活動と深い関係にあります。現代でもチンパンジーやオランウータンが木を道具として使うように、人類も森から木を取り、自分たちの生活を便利にするために使ってきました。私はヤマハに入社後、縁あって森

林関連のプロジェクトを立ち上げました。ヤマハは楽器や音響機器の製造、販売事業を生業としており、世界各国から多様な木材を調達してピアノなどの楽器に使用してきました。現在、木材を使って楽器を作るとい時代から、どうやって木材を使い続けられるか、という時代に入り、森林の持続性は木材を使う製品メーカーにとって重要な課題となっています。私自身、大学で木材を研究し、会社でも木質材料の研究開発に携わっていた一方、森林に目を向けることは少なかったのですが、今改めて木材から森林を見つめ直して研究を続けています。

私は1996年に金光学園中学校に入学し、2002年に同高等学校を卒業しました。中学校入学当時、学校の象徴で

あるメタセコイア並木とその奥に佇む校舎を目にし、幼いながらも、これから始まる中学高校生活に胸を躍らせた気持ちには、今でも鮮明に覚えています。6年間の金光学園生活の中、たくさんの友人と出会い、多くの先生方に支えていただいた当時の経験は私の人生の大きな財産となっています。高校では硬式野球部に所属し、毎日グラウンドで汗を流しました。つらい、しんどい思い出しが残っていませんが、野球部でなければ得られなかった経験は人生の宝です。一番記憶に残っているのは、倉敷マスカットスタジアムでの最後の夏の大会です。一回戦負け、しかも私は試合に出られませんでした。が、同年の仲間や後輩とのチームの集大成として、自分たちのできることを精一杯やって、存分に戦い抜いた暑い夏でした。

アフリカ大陸の東部にタンザニアという国があり、そこが今の私の主な活動フィールドです。国土面積は日本の約25倍、インド洋に面し、北にはキリマンジャロやビクトリア湖、セレンゲッティやゴロンゴといった美しい国立公園が各所に広がる観光自然資源に恵まれた国です。タンザニアは、2000年代に入り急激

な経済成長を続けており、天然ガス田や金、ダイヤモンドなどの豊富な鉱物資源、農産物が産業を支えています。鉱物では、タンザニアでしか取れないと言われる「タンザナイト」、農産物ではキリマンジャロ産のコーヒーや、カカオ、カシューナッツ、ゴマが有名です。港や空港のある大都市ダルエスサラームは、イスラム教、キリスト教、仏教など様々な宗教、文化が華やかに織り交ざり、近年はカジノや高級ホテルが進出し、タンザニアの経済の中心地として栄えています。

オーボエに使われています。この木材のことを楽器業界では「グラナディア」、タンザニアではムピンゴ (Mpingo) と呼び、国木 (National tree) として重宝されています。アフリカン・ブラックウッドは成長に時間がかかり、伐採できるようになるまで100年以上かかります。100年以上、森林を管理していくためには地域の人々の協力が不可欠で、農業で生計を立てていく傍ら、次世代、次々世代に向けて森林を育ててもらふ必要があります。「森林を守る」ことが「地球に良い」



タンザニアでの調査活動

タンザニアには黒い木「アフリカン・ブラックウッド」が生えており、この樹木を育てて森林を長く使っていくのことにすることが私の仕事のひとつです。この樹木の心材部からとれる黒い木材は、水に沈むくらい重く、音が良く響くため楽器に適しており、現在はクラリネットや

略歴

- 2002年 金光学園高等学校卒業
- 2007年 九州大学農学部生物資源環境学科学卒業
- 2009年 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士課程修了
- 2009年 ヤマハ株式会社入社

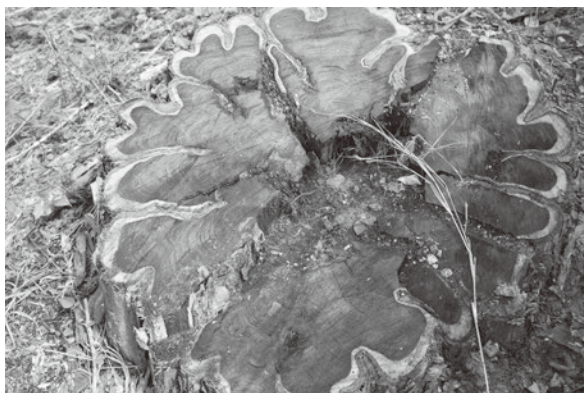
2009年ヤマハ株式会社入社後、楽器用木質系複合材料の開発や天然樹脂を用いた伝統的塗料の製法開発等、木材および木質材料の研究開発に広く携わる。2015年より、林野庁補助事業や国際協力機構 (JICA) の民間連携事業として、タンザニアでのアフリカン・ブラックウッドを中心とした森林保全モデルの構築に係る研究、実証調査を進めている。木材の効率的な利活用を切り口として、良質で有用な森林資源を地域と共存して育てていくことが目標。

博士 (農学)、技術士 (森林)

ことであることは誰しも理解できませんが、明日の食べ物に困るような貧困と隣り合わせの地方農村では、利益に繋がらない限り協力を得ることができません。そこで、持続可能な森林管理により木材に付加価値をつけ、楽器に使い、楽器に使った利益を地域に還元しながら、伐採した分を地域の雇用創出を兼ねて植栽していくというサイクルを作っています。現在は、このサイクルに様々な要素を織り交ぜ、楽器に使える良質材の育成を基盤とした地域の森林管理システムの実証試験を続けています。

学問として学び、研究したことが社会の役に立つのか。これは、誰しも勉学に励む中でぶつかる壁であり、私自身常にその葛藤に苛まれてきました。確かに、学んだことがそのまま社会の役に立つことは少ないのかもしれませんが、多くを学び、見聞を広げることで見えてくる世界があります。近年、社会のグローバル化が急速に進み、世界がより身近に感じられ、世界中の人といつでも繋がることができます。自分の可能性を信じ、いろいろな国の人たちと触れ合い、地球規模で文化や社会を理解しながら、次代を担

う志高い若者が次々と育っていく。そういった人材が金光学園からどんどん巣立ってほしいと思いますし、いつか彼らと同じフィールドで働く日がくることを願っています。



アフリカン・ブラックウツドの断面

## 表紙の言葉

中1 關藤 晴人

「初燕見てよき駅や旅ころ」

線路沿いの桜が咲いている小さな駅で、天高く飛んでいる燕が、春が来たことを知らせしてくれる。それを見て、自分のところの中にある旅の思い出が蘇り、また旅がしたいという気持ちになる。僕はこの俳句を読んで、桜の咲く駅で春を感じている情景を思い浮かべました。

版画を彫るときには、線がくつきりと見えるように、できるだけ深く彫りました。線をくつきり出そうとすると力が結構必要なので、彫るのが難しかったです。燕と桜と菜の花を配置し、春の訪れを感じるができるようになりました。また、文字の周りの色も春を感じられるように、穏やかな色を使いました。燕が上空を飛んでいるように見せるために燕のお腹側を描きました。全体として春の温かい雰囲気が出るように表現しました。コロナ禍で旅行に行くことは難しいけど、これを見た人がどこか行こうかなと思えるような作品になればいいなと思って制作しました。

## アジア高校生 架け橋プロジェクト 留学生紹介

インドネシア  
ムハンマド・ブアナ(ゲリー)

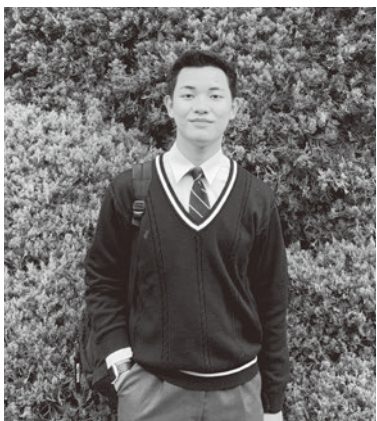
9月30日は私の人生で忘れることのない日です。私の日本での留学生としての物語が始まった日なのです。今まで知らなかった沢山の人と出会い、新しい家族、新しい友達、そして少し違った雰囲気の中で暮らすことから私の新しい旅は始まりました。初めて学校に行った日、学校の人みんなが温かく迎え入れてくれ、明日も早く学校に行きたいという気持ちになりました。私が金光学園で友達や先生

に会ったことは、私の日本に対する素晴らしい第一印象を作ってくれました。

日本では、みんなが私のために、素晴らしい環境を作ってくれたのでホームシックにならなかった。ホストファミリーと先生や友達から日本の文化をたくさん習いました。自分の息子ののように私の面倒を見て下さったホストファミリーも、一人だと感じさせないように周りにいた友達も、必要な時いつでも手伝う先生たちも、日本に来て良かった。

私がここに来てからほぼ6ヶ月になりましたが、もうすぐすべてのものをここに置かなければなりません。私たちが出会ったのが昨日のこのようです。でも、もう行かなくてはなりません。私は金光学園で多くの貴重なことを学び、また非常に素晴らしい経験をしました。皆さん、私を忘れないで次の機会に会えることを願っています。

私が本当に交換学生になるという目標を達成するとは想像もできなかった。私は今まででできなかった新しい文化と言語を学ぶことができました。最後に、U-11の友達と先生に感謝します。あなたたちは私の一日を大切にしてくれ



した。私たちが経験したすべての瞬間を決して忘れない。君たち一人一人を絶対に忘れない、絶対に。私たちは交換学生になる夢のために会ったが、今はまた別の夢を見なければならぬので別れなければならない。

かならず戻ってくる約束します。  
ありがとう。さようなら。



KONKO GAKUEN PRESENTS

## 小学生のための「土曜チャレンジ講座」

主催/わかばプロジェクト

金光学園中学・高等学校長 金光道晴

金光学園ではこの度「小学生のための土曜チャレンジ講座」を始めます。昨年は、フィットネスや国際交流などをテーマに「オンライン土曜講座」を実施しました。また、夏休みには「集まれ！金光学園へ」で、絵や作文に取り組んだり、学園生と一緒に勉強したり、部活動体験を行ったりしましたが、参加した児童の皆さんや保護者の方に大変喜んでいただきました。そして「また、このような講座を開い

い。」とのお声もたくさんいただきました。

そこで、今年はさらに内容も期間も充実させて、より魅力的な12の講座を用意しました。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

また、夏休みには「学童サマースクール」を開催いたします。5月下旬には詳細を発表し募集を開始いたします。楽しみに待っていてください。

### 募集要項

#### 《1》講座内容

全部で12講座あります。右ページをご覧ください。

#### 《2》対象及び人数

対象：小学3年～6年生  
人数：各講座5～15名

#### 《3》実施日程、時間

令和4年5月～7月（6回）  
〔日程〕

|            | 5月  | 6月  | 7月  |
|------------|-----|-----|-----|
| <b>A日程</b> | 7日  | 4日  | 2日  |
| 1・3週       | 21日 | 18日 | 16日 |
| <b>B日程</b> | 14日 | 11日 | 9日  |
| 2・4週       | 28日 | 25日 | 30日 |

#### 〔時間〕

①11:00～12:10 ②13:30～14:40  
③15:00～16:10

#### 《4》会場

金光学園内 記念講堂他各施設

#### 《5》参加費

各1講座 6,000円（6回分）  
\*申込時、一括納入。  
\*講座によっては、別途費用必要。

#### 《6》参加申込・参加費納入方法

〔1〕PC、スマホ等でお申し込み  
右のQRコードより必要事項ご記入

の上、お申し込みください。参加費は、下記の講座にお振込みください。振込は、参加者名(お子様名)でお願いします。手数料は参加者の方でお願いいたします。

中国銀行 金光支店  
普通 2517702  
名義 わかばプロジェクト

〔2〕金光学園に直接ご提出、または、郵送にてお申込み。

次の①～⑦の必要事項を記入した用紙と、参加費を、金光学園事務室まで直接ご持参して下さるか、現金書留にて、下記住所まで郵送してください。

記入必要事項 ①参加希望講座名(複数可) ②参加児童名 ③参加児童学年(4月からの新しい学年) ④保護者名 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス

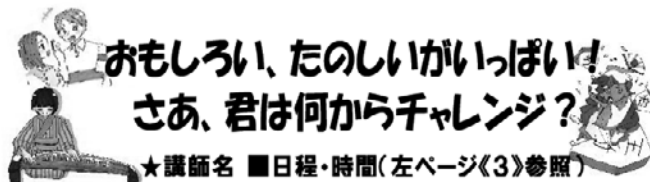
#### 《7》お申込み締め切り

令和4年4月30日(土)

#### 《8》お申込み及びお問い合わせ先

719-0104 浅口市金光町占見新田 1350  
金光学園内 土曜チャレンジ講座係 宛  
金光学園 0865-42-3131  
講座携帯 090-2863-8273

お申し込みはコチラから



詳細情報  
お申込みは  
コチラから



#### 【A】初めての英会話

～Hello!から始めよう、楽しい英会話～  
★バルヴァ・ショーン〔金光学園講師〕  
■日程・時間 A日程 ②  
初心者大歓迎。カードゲームやボードゲームをしながら、楽しく英語を学ぼう！

#### 【B】英語を使って楽しもう！

～少しだけ、中学への準備もしよう～  
★バルヴァ・ショーン〔金光学園講師〕  
■日程・時間 B日程 ②  
身近なテーマについて会話をしながら、レベルアップにチャレンジ！

#### 【C】楽しく学ぶ書写講座

～学び合おう、広げよう書の魅力～  
★小森那美〔金光学園講師〕  
■日程・時間 A日程 ①  
硬筆、毛筆を楽しく学び、オリジナル作品(絵巻物)も作ります。

#### 【D】将棋を学ぶ

～大学生日本一の経験者が教える！将棋のすめ～  
★羽仁豊〔大学4年時、大学生日本1位〕  
■日程・時間 B日程 ②  
盤上に表現する“将棋の面白さ”を知ってもらいたい。初心者から上級者まで丁寧に教えます。

#### 【E】コミュニケーションの達人になろう

～アナウンサーと学ぶ手話と話し方～  
★遠藤寛子〔元RSKアナウンサー、手話通訳者〕  
■日程・時間 B日程 ①  
言葉の「音声言語」と、初めてふれる「手話」の「視覚言語」を楽しく学びましょう。

#### 【F】こんなにも美しい！お筆の音色

～お筆を実際に演奏して、身近に感じよう～  
★亀川敏里(真理)〔海外演奏も経験〕  
■日程・時間 B日程 ①  
美しく優しく力強い筆(こと)の音色を体験。筆は日本を代表する楽器です。この機会にチャレンジ！

#### 【G】パソコンでゲームを作る

～プログラミングを通じたモノづくり体験～  
★戸井健吾〔ICTアドバイザー〕  
■日程・時間 B日程 ③  
プログラミング言語「Scratch」でできたゲームを「改造」するところからはじめます。

#### 【H】キャンプへの道

～自然を感じるデイキャンプをやります～  
★岡本明広〔ホーイカ外浅口第3団隊長〕  
■日程・時間 B日程 ③  
最後の講座では実際にデイキャンプを行います。先ずはその技術を身に付けることから。

#### 【I】金光学園で国際交流

～君も今日から国際人～  
★守分俊浩〔コーディネーター、金光学園教諭〕  
■日程・時間 A日程 ②  
様々な国の留学生が毎回入れ替わり参加。楽しく遊びながら国際感覚を身に付け、視野を世界に。

#### 【J】LEGOでロボコンに挑戦

～LEGOロボットで、ロボコンにチャレンジ～  
★谷野一忠〔金光学園教諭〕  
■日程・時間 A日程 ③  
LEGOのEV3というロボットを使い、自動制御プログラムを作成。ロボコン参加のチャンスも。

#### 【K】体育の授業、スポーツが楽しくなる！

～一生懸命な君が大好き～  
★佐藤洋平〔他、金光学園保健体育教諭〕  
■日程・時間 A日程 ③  
体育の好きな人はもっと得意に、ちよびり苦手な人は、上手にできるコツを、一人ひとりに合わせてアドバイス。

#### 【L】大原美術館ってなにしてる？

～美術館とアートを楽しむために～  
★大原美術館学芸員〔回毎に入れ替わり〕  
■日程・時間 A日程 ①  
美術館の人ってなにしてるの？アートってどうやって楽しむの？そんな美術館やアートにまつわるさまざまを紹介。

# 可能性は無限大

~~~~~学園随想(79)~~~~~

内田 雅彦

青春時代を金光学園高校で過ごした。中でもインターハイ予選の決勝、最後を決めた1球の感触は鮮明に残っている。インターハイとは高校生にとって、そしてその後の人生にとっても大きなものであることを、今あらためて実感する。目標を叶えることができたこの金光学園へ教員として戻り、恩返し気持ちで勤めている。今の自分があるのも金光学園であったからこそだと思う。

—21年目—

部活動で卓球を指導して21年目が過ぎる。これまでに中学から高校まで男女問わず指導してきた。それぞれの年代で、思い返せば色々苦勞もあったが、いつも2つのことを心掛け、時には自分の戒めとして指導してきた。

1つ目は「相手に敬意をもって向き合う」

こと。それは卓球が「相手あってこそその競技」だからである。相手がいなければ練習も成り立たない。だから自分勝手ではいけない。試合が成立するのも相手がいるからこそ。試合中は表情、仕草などから相手の心理を読んで、戦術を次から次へと変えていくのも卓球の醍醐味である。そしてゲームエンドの際には互いのプレーを讃え合い、握手を交わす。このことは人付き合いの中でも大切にしてもらいたいと思っている。

2つ目は「成長のチャンスを見逃さない」こと。例えば練習中に部員が新しい技術に挑戦しているとき、上手くできて

いるかどうかは本人ではわからないが、そのときの声かけを大事にしている。できていなくても、「いい感じだ」、「雰囲気が出てきた」と声をかけ、本人の挑戦している気持ちを消さないように、成長の



を立ち上げ、今年で16年目になる。毎週水曜日、夜7時から9時まで小体育館で活動している。近隣に卓球ができるスポーツ少年団がなかったこともあり、浅口市教育委員会の管轄のもと初年度から19人の団員でスタートできた。倉敷市、笠岡市へと広がり24人まで増えた年もある。対象が小学生のため故障に気を付けたり、打法を理解してもらうためにも難しい言葉を使わないように、また練習にも飽きないようにと色々工夫してきたことは、部活動の指導にも繋がっている。

この少年団が6学年の縦のつながり、他の小学校との横のつながりがあるコミュニティの場になればいいと思っている。そしてスポーツを通じて、練習を継続することで必ず上手くなる実感も自信につながる。実は週1回の時間を確保するためにスケジュールをやり練りするのはなかなか大変ではあるが、練習を楽しみに通ってくる団員の気持ちを考えて、どんな事情があっても水曜日を休まないように努めてきた。長く活動していた甲斐あって、最近では保護者や町内の卓球愛好家、本校の卒業生など多くの方に助けってもらえるようになった。



チャンスを見逃さないことが大切である。ここまで私もたくさん失敗を経験し、そこから学んできたことも多い。部活動は指導者にとっても学びの場である。

—16年目—

2006年に「金光卓球スポーツ少年団」

—13年目—

2021年6月27日、午前0時51分  
井上全悠（高66回）からショートメッセージが入る。

「東京パラ決まりました！」  
彼と出会って13年目、二人三脚で夢をつかんだ瞬間だった。

2019年には彼自身の最高位となる世界ランキング13位につけ、順調であるかのように見えた。ところが、ここから勝てない試合が続く。メディアに取り上げられる機会も増え、期待と応援の声は益々大きくなる中で、プレッシャーを感じない選手はいない。ランキングも2020年には20位まで下がった。お互いに何が足りないのだろうかと焦りも出てくる。まさにスランプだった。この年、東京オリンピック・パラリンピックは延期となり、その後も新型コロナウイルスのパンデミックは収まらず、予定されていた国際大会も全て中止に。練習に明け暮れる長くて苦しい1年間だった。2021年6月には優勝者のみが内定となるパラリンピック世界予選に出場したが準決勝で敗退し、残るは6月26日の国際卓球連盟からの推薦を待つのみとなった。こ



これまで私は人生を捧げる覚悟で準備してきたが、最後の望みをつかむまでがどれほど遠い道のりだったことか。

東京パラリンピックの開会式で、日本選手団の行進の中に彼の姿を確認したとき、やっとここまで来たかと胸に込み上げるものがあった。また創立120年記念式



で講演していただいた谷真海(旧姓・佐藤)選手がトライアスロン選手として出場し、人権講演でお世話になってる竹内昌彦先生も聖火ランナーとして登場するサプライズもあり、金光学園とご縁に感慨深い気持ちになった。この期間中も母体コーチとして帯同していたが、無観客開催のためコーチ陣もナショナルトレーニングセンターからの観戦となった。しかしながら、つい数時間前までここで練習していた教え子が、ライブ中継のモニターの中で日の丸を背負いアスリートとしての最高の舞台で勇ましく戦っていた姿に大変誇らしい気持ちで一杯になった。

人間の可能性は無限大。そこに向かう覚悟と準備がどれだけできているかだと思ふ。

## 生徒会活動

《中生徒会》 次年度の生徒会を担う生徒会長選挙が1月7日に公示され、中1・2の8クラスから10名が立候補した。14日の立会演説会はオンラインで行い、各候補者から政策や公約について熱い思いが訴えられた。19日の公開質問会では、多くの質問が出され、候補者の考えをさらに理解できる良い機会となった。21日の投票の結果、会長に2年の金光奏一くん、副会長に2年の坪井春さん、1年の磯崎唯愛さんが当選した。24日には認証式を行った。また、三役を支える事務局員を募集する説明会を2月17日に実施した。春季球技大会など実際に事務局の仕事を経験した後、新年度に新事務局員を決定する。

《高生徒会》 2月4日(金)、第2回生徒会総会がオンラインで行われた。今年度の各種専門委員会、学年代表者会議、執行部の年間総括について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台で発言した各種専門委員長、学年代表者会議議長、執行部からはいずれ

も堂々とした態度で発表を行い、質問や意見に対して誠実に答えた。

《書道部》 部員一同、様々なコンテストに積極的に応募している。「第16回全国高校生(書道)S-1グランプリ」において、高1寺川なのは、高2遠藤万結香が奨励賞に、高2石井雄人が特選に入賞した。

《茶道部》 12月23日には冬至釜を行った。ぜんざい・善哉(よきかな)に掛けて、良いことが重なるようにと、みんなでぜんざいをいただいた。1月13日には初稽古に合わせて初釜を行い、濃茶の作法なども勉強した。部内での活動のみだつたが、お茶会の雰囲気も味わえ、良い体験になった。

《音楽部吹奏楽団》 2月5日に里庄総合文化ホールフロイデにてジョイフルコンサート、2月13日にはおかやま山陽高校と合同でスマイルサンクスコンサートを開催予定であったが、ともにまん延防止等重点措置の影響で中止となった。部活動停止期間中ではあるが、家でできることを中心に定期演奏会開催に向け、準備を進めることができた。

《高美術部》 岡山県高等学校美術展に2

名が油彩画を出品した。作品は2月1日(火)～6日(日)に天神山文化プラザに展示された。

《中高新聞部》 12月3日(金)に、ほつま新聞3月号掲載記事の取材として、「さん太しんぶん館」に取材に行った。3月には、ほつま新聞第209号を発行した。

《芸芸部》 毎月テーマを設定して小説を執筆し、月例集にまとめた。自作を含めたすべての作品に向けて評価用紙を書き、批評会を行うことで研鑽を積んだ。卒業式に際して記念集を制作し、5名の卒業生に贈った。

《軽音楽部》 来年度のほつま祭に向けて練習を頑張っている。

《ラグビー部》 12月18日(土)に行われた美作市長杯ラグビーフットボール大会に合同Bチーム(岡山一宮・関西・金光学園)で参加した。合同Aチーム(津山工業・津山高専)に15-7で勝ち、合同Cチーム(岡山工業 岡山城東・高松農業)に10-0で勝ち、プレトリリーグで優勝した。コロナ禍の影響で、年次に予定していた正三会は実施できなかった。1月16日(日)から始まった岡山県高等学校ラグビーフットボール新人大会には、合

同Aチーム(岡山二宮・関西・金光学園)で参加した。一回戦は、合同Bチーム(岡山工業・高松農業)に53―10で勝ち、準決勝は倉敷との対戦の予定であったが、体調不良等による人数不足のために棄権した。コロナ禍により延期された3位決定戦は、2月27日(日)に倉敷工業と対戦して0―56で負け、第4位となった。

《中男子ソフトテニス部》 11月13日(土)に第32回チャレンジカップ備南西地区中学生ソフトテニス大会が行われ、1年生の部で定金・横溝ペアが優勝した。12月11日(土)に第25回ワコースポーツ文化振興財団杯が行われ、金光・梁原ペアが準優勝した。

《中卓球部》 12月18日に山陽新聞社杯争奪卓球選手権大会に参加した。1年生男子シングルスで安藤(L1)と小谷(L1)がベスト64に入った。1年生女子シングルスで藤原(L1)がベスト8に入った。12月27日に全国中学選抜予選に参加した。男子団体予選リーグで吉備に0―3、芳泉に0―3で敗れた。

《高サッカー部》 新人大会備中地区予選会が12月12日・18日に行われ、対倉敷工業(0―5)、対総社(0―3)、12月26日・

28日に福山ウインターユースフェスティバルに参加し、対済美(2―8)、対松江高専(2―1)、対福山TC(0―0)、対芳泉(2―4)という結果であった。

《柔道部》 12月11日に岡山学芸館高校で小・中・高合同の練習会があり、参加させていただいた。12月12日に岡山大学で高・大合同の練習会があり、参加させていただいた。12月22日に県立水島工業高校で、23日に本校で合同の練習会があった。

感染症の第六波が来る前に有意義な練習を積むことができたとともに、他校の選手と交流し、刺激を受けた。12月28日に2021年の稽古納を行い、道場周辺の大掃除をするともに、卒業生にも多く訪ねていただいた。

《中高剣道部》(稽古始め)令和4年1月2日(日)、学園道場において、新年初稽古会を実施し、快い汗を流した。《寒稽古》1月2日(日)～12日(水)まで、学園道場にて「厳寒に鍛える」をモットーに伝統ある寒稽古を実施した。(新型コロナウイルス感染症対策をガイドラインに従って徹底し、宿題テストでの休みをはさみながら実施した。)皆勤者は才野恵翔、

山下劉(共に中学3年)、浅野優斗(高校2年)の3名。浅野は5年連続皆勤であった。

《中高少林寺拳法部》 12月25日に広島県立総合体育館で行われた第3回中国高等学校少林寺拳法新人大会男子単独演武の部に高2田淵春成・友田隼咲の2名が出場した。両名ともに予選を勝ち抜き、決勝進出を果たして田淵が5位入賞、友田が7位という結果であった。

《中男子バスケットボール部》 1月9日に備南西地区及び玉島地区の中学校で、大会が行われた。予選リーグでは、3勝1敗で、予選リーグを2位通過。決勝リーグでは、鴨方中学校と対戦し敗退したが、普段の練習の成果を出すことができ、夏の大会に向けて、いい機会となった。

《高男子バスケットボール部》 11月20日から2週にわたり、第74回新人バスケットボール大会備中予選会が開催された。シードのため初戦はなし、続く2回戦では高梁高校と対戦し143―38で勝利し、ブロック決勝では、倉敷天城高校と対戦し、77―59で勝利し、ブロック1位で翌週の決勝リーグに進んだ。決勝リーグでは、倉敷青陵高校に69―73で敗戦、水島工業

高校に52―70で敗戦、岡山龍谷高校に80―57で勝利し、備中予選を第3位で1月に行われる県大会への出場を決めた。

1月8日から第74回岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会が開催された。シードのため初戦はなし、続く2回戦では岡山朝日高校と対戦し、91―67で勝利しベスト8を決めた。続く、ブロック決勝では、関西高校と対戦し、109―57で敗れた。翌日の順位決定トーナメントでは、岡山学芸館高校と対戦し62―50で敗れ、続く作陽高校戦でも90―45で敗れ、今大会をベスト8で終えた。

《高女子バスケットボール部》 1月8日に開催された第74回岡山高等学校バスケットボール新人優勝大会岡山県予選会に出場し、1回戦岡山一宮高校と対戦し54―68で敗れた。

《高男子バレーボール部》 12月18日、19日、岡山県高等学校新人バレーボール大会備中地区予選会

グループ戦 金光学園2―0玉島  
金光学園2―0水島工業  
準決勝 金光学園2―0倉敷古城池  
決勝 金光学園2―0倉敷商業  
優勝 県大会出場権獲得

12月23日24日 全国私立高等学校バレーボール選手権大会中国ブロック予選会グループ戦 金光学園2―0岡山龍谷  
金光学園2―0広島城北  
金光学園2―0広島工大高

金光学園2―0盈進  
金光学園0―2広島瀬戸内

全国私学大会出場権獲得  
1月15日22日 岡山県高等学校新人バレーボール大会  
2回戦 金光学園2―0倉敷古城池  
準々決勝 金光学園2―0倉敷南

金光学園2―0津山工業  
準決勝 金光学園0―2岡山東商業

中国新人大会は中止となった。引きつづき全国大会を目標に頑張りたい。

《木綿崎ボランティア部》 施設の受け入れなどが無く、なかなか活動ができなかったが、高校3年生の卒業式の前日の放課後に、気持ちよく金光学園を巣立っていただきたいと願い、クリーン作戦を行った。各学年がすでにクリーン作戦を実施して美化に取り組んだ後だったが、式の前日、直前の放課後に正門や体育館下、その周辺を心を込めて掃除した。

《花道同好会》 12月以降は2回しか活動できなかったが、平松先生の指導の下、熱心に稽古した。

新型コロナウイルス感染症の影響で、1月27日～3月6日、岡山県にまん延防止等重点措置が適用された。この期間には公式の大会やコンクール等を目前に控える部以外の活動は禁止となった。

## 学園だより

### 進路委員会

11月29～30日、高3では生徒の志望校について詳しく検討し、受験を控えてより良い指導ができるよう話し合った。12月2日に高1で、3日に高2でそれぞれに行い、現在の学力分析を基に今後の指導方針を検討した。

### 中学入学試験(適性検査型)

12月5日、153名が志願していた中学入試(適性検査型)が行われた。合格発表は8日に行われ、専願合格者は12月17日までに、併願合格者は2月8日までに手続きを完了した。

### 主権者教育

12月10日、高2は主権者教育を行った。岡山県県民生活部市町村課選挙班 赤島康人氏による選挙出前授業、模擬投票を通して、主権者としての心構えを学んだ。

### 進路講演

12月10日、高1は木村達哉先生の「英語力とやる気をぶりに上げるために」と題した講演を聴き、英語の勉強法や成績を上げるための秘訣、人生をどう生きるかについて学んだ。

### 個別面談

中高の全クラスで、個別に

2者あるいは3者で行った。中学校では、2学期を振り返り冬休みの過ごし方について、高1や高2では進路を見据えての教科選択について、高3では進路委員会の結果を基に受験大学について相談した。

### 終業式

12月25日、2学期終業式がオンライン形式で行われた。校長式辞、留学生の挨拶、養護教諭からの新型コロナウィルス感染症対策に関する諸注意、生活課からの諸注意があった。

### ウィンターチャレンジ

12月25日および27日、特別進学クラス全員と総合進学クラスの希望者を対象にウィンターチャレンジを実施した。2日間で集中して発展的な学習に取り組んだほか、自主学習と小テストにより基礎的内容を定着させた。

### ウィンターイングリッシュビレッジ

12月26日、中1の希望者を対象に、ベルリッツ講師による英語の特別講座を実施した。

### 中学入学試験(教科型)

1月4日、165名が志願していた中学入試(教科型)が行われた。合格発表は7日に行われ、専願合格者は1月14日までに、併願合格者は2月8日までに手続きを完了した。2月11日には、入学までの指導や制服の採

寸のための招集があった。

### 始業式

1月7日、3学期始業式がオンライン形式で行われた。校長式辞・高3生徒(富樫雅仁くん)の決意表明・生活課よりの諸注意があった。

### 街頭交通指導

毎月1日は生活課の教員が、またその他にも定期的に学年団の教員が通学路に立ち、交通安全や通学マナーについての指導を行った。

### 高校県外入学試験

1月9日、県外の中学生を対象とした一般入試(専願・併願)が行われ、27名の中学生が志願した。13日に各中学校宛に選考の結果が通知され、専願合格者は19日までに手続きを終え、2月11日の招集日に入学までの諸連絡を聞いた。

### 大学入学共通テスト

1月15・16日に実施された大学入学共通テストには、高3生徒162名が出願し、倉敷芸術科学大学、中国学園大学、くらしき作陽大学の3会場で受験した。



### 中学生徒会長選挙

1月21日に行われた来年度の中学会長選挙の結果、会長には2年の金光奏一くんが、副会長には2年の坪井春さんと1年の磯崎唯愛さんが選ばれた。

### 進路委員会

1月22日、高3では大学入学共通テストの自己採点の結果を基に、2次試験に向けての出願を検討した。その後、個人面談を実施し生徒は出願した。

### 進路学習

1月25日、中3は卒業生である大学生による高校入学後の心構えや受験に関する話を聴き、それを元に進路を考える機会を持った。2月1日、中2はオンラインで8分野にわたる様々な職業の方からグループ毎にお話を聞き、働くことの意義・楽しさ・苦労などを学び、これからの進路を考えることに役立った。

### 高校入学試験

1月27日に推薦入試(専願)と一般入試(専願・併願)が同時に行われ、それぞれに14名、68名の中学生が志願した。31日に各中学校宛に選考の結果が通知され、専願合格者は2月8日までに手続きを終え、11日の招集日に入学までの諸連絡を聞いた。

### 高2芸術選択者発表会

2月19日、音

楽選択者は練習の成果を演奏会で発表した。また、2月上旬に美術選択者が、下旬に書道選択者がそれぞれ作品を校内に展示し発表した。

### 人権講演

2月21日、高2は名古屋大学教授 三宅元子先生の「ネット社会を上手に生き抜くために～人権侵害・トラブル防止・対処法について考える～」と題した講演をオンライン形式で聴き、感想文を書いた。

### 卒業式

3月1日、第74回高校卒業式が1部は厳かに、2部は和やかに行われ、199名の生徒が学園を巣立った。

### ◇教主金光様のおことば

本日はおめでとうございます。これからも学園生活で培われたものを大切に、皆さんそれぞれの進路に向かって、世話になる全てに礼をいう心をもって進んでいかれますようお祈り申し上げます。



**お慶び** 土井康広先生には12月24日に次女のご誕生、お慶び申し上げます。

**お悔やみ** 宮里秀美氏(中2保護者)には1月12日にご逝去、松本蓮太郎先生の御祖父には3月4日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

# 教室の窓から

2022年1月15日、16日に行われた大学入学共通テストは、多くの科目で平均点が下がり、特に数学の難化が目立ち平均点は大幅ダウンした。国立大学の出願を断念する受験生が増加し、特にボーダーラインが高い後期日程での傾向は顕著に見られたという。私立大学への専願へ切り替える受験生が増え、その結果、都市部の国立大学では志願者が減少。安全志向が鮮明になった。

この共通テストに向けて、授業・放課後補習では、過去問題・対策問題集を活用し、できる限りの取り組みをしてきた。テスト直前まで対策を行い、自信をつけさせた。私たち教員は、「これだけやったのだからいい結果が出るはず」と励まし、送り出した。

しかし、難化の影響も受け、多くの生徒が思うような結果を出せず、自己採点ではどんよりとした雰囲気が出ていた。自己採点よりもサチが返却され、面談では、志望校を変更せざるを得なかった生徒もいた。しかし、自分の志望校を下げず、毎日学校に来て、過去問に取り組んだ生徒もいた。諦めない気持ち

で、粘り強く取り組む姿勢に、私たち教員もそれに応えようと指導を行った。

今、社会に問われている力はどのようなものだろうか。ある大学の小論文の課題で「ゲー」『チョコキ』『バー』のじゃんけん」に「キュー」という選択肢も加えた新しい遊びを考えなさい」という目的・ルールを考え、魅力を論じなさい」という問題が出題されたことがある。これは、その人がもっている創造的思考力を測る問題とされ、日頃から自分でものを探し、思考力を鍛えていないと通用しないといえる。このじゃんけん問題は、新しいゲームとそれを成立させるための整合性のあるルールを自分で考えて創り出せるかが問われている。これはものづくりにおいて非常に重要な能力で、大学側は受験生にその力を求めているというわけである。

このような力をどうしたら生徒につけさせることができるのか。一時間の授業の中で、自ら課題を設定し、いかに考え、答えを導き出すか。そのような授業を行わなければならぬ。これまで行ってきた生徒との授業を振り返り、今までの経験の上に、教員自身が創造的思考を働かせて、思考力を鍛えていく必要があると考えさせられた。

## 編集後記

中学生の頃に、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」を下敷きにした物語を読み、「キエフ」という地名を知った。耳慣れない素敵な響きだと感じたことを覚えている。

ロシアのウクライナ侵攻を受け、首都の表記をロシア語由来の「キエフ」(Kyiv)からウクライナ語の「キーウ」(Kyiv)に変更しようとする動きが、欧米メディアを中心に広がっているという。日本語の記事でも「キーウ(キエフ)」という書き方を目にするようになった。世界中がウクライナに連帯しようとしている様子を見れば、視化した事例の一つかもしれない。

彼の地ではたくさんの方の命が失われている。ウクライナ国民だけでなく、ロシアの兵士も大勢亡くなっている。為政者が始めた戦争で命を落とすのは、いつも為政者ではなく市民である。戦争反対を唱えつつ、一刻も早い終戦を切に願う。

令和4年3月9日印刷  
3月17日発行

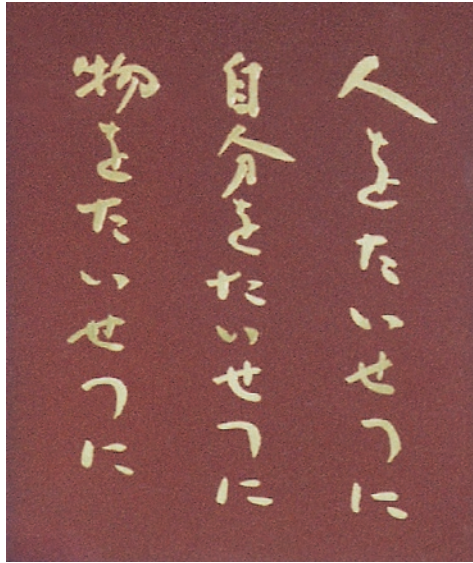
編集者 金光学園やつなみ保護者会  
やつなみ編集部

印刷所 倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一  
玉島活版所

発行所 浅口市金光町古見新田一三五〇  
金光学園内  
金光学園やつなみ保護者会

## 高2 芸術選択者発表会 (書道)





◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。



homepage



facebook



Instagram

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail [info@konkougakuen.net](mailto:info@konkougakuen.net)